

# 第一回 国営海の中道海浜公園魅力向上推進協議会

日時：令和2年7月30日（木）

10:00～12:00

場所：国営海の中道海浜公園事務所

## 議事次第

### 1. 開会

### 2. 国営海の中道海浜公園魅力向上推進協議会の設置について・・・資料1

### 3. 議題

1) 公園の将来像（ビジョン）の作成について・・・資料2

2) 海の中道海浜公園の歴史・・・資料3

3) 海の中道海浜公園のストック効果・・・資料4

4) 既往の計画・設計と社会情勢の変化、将来像のキーワード・・・資料5、資料6

5) 各主体における今後の計画、予定等・・・資料7

### 4. 閉会

以上

#### ○配付資料

資料1-1 国営海の中道海浜公園魅力向上推進協議会の設置について

資料1-2 国営海の中道海浜公園魅力向上推進協議会 規約（案）

資料1-3 国営海の中道魅力向上推進協議会 委員名簿

資料2 公園の将来像(ビジョン)の作成について

資料3 海の中道海浜公園の歴史

資料4 海の中道海浜公園のストック効果

資料5 既往の計画・設計と社会情勢の変化、将来像のキーワード

資料6 公園の将来像として盛り込むべきキーワード案

資料7-1 各主体からの発表資料（(株)海の中道海洋生態科学館/マリンワールドPFI(株)）

資料7-2 // ((株)Plan・Do・See ザ・ルイガンズ.)

資料7-3 // ((株)ササキコーポレーション 海の中道マリーナ&テニス)

参考資料1 日比谷公園ランドデザイン～5つの提言～

参考資料2 海洋博公園基本計画（H29.3更新）

参考資料3 海の中道海浜公園整備・管理運営プログラム（H29.3）

## 国営海の中道海浜公園魅力向上推進協議会の設置について

海の中道海浜公園は、公園管理者である国のほか、公園の運営維持管理業務の受託者、マリンワールドやレイガンズ等を運営する PFI 事業者など、多くの者が連携して、多様なレクリエーションを提供している国営公園である。

今後も、本公園のストック効果をより一層高め、多くの方に満足頂ける公園であり続けるためには、本公園の整備、管理運営に関係する者が一体となって、本公園の魅力を維持・継承するとともに、多様化し続けるレクリエーションニーズに柔軟に対応できる体制を構築する必要がある。

このため、都市公園法第 17 条の 2 に基づき、公園利用者の利便の向上を図るために必要な協議を行うことを目的として、公園管理者、施設の管理運営を行う者、学識経験者、関係地方公共団体等からなる協議会を設置する。

### 協議会の協議事項案

- (1) 今後の本公園の整備・管理運営の基本的方向性、将来像の整理に向けた協議
- (2) 将来像の実現に向けた具体的な取り組みに関する協議
- (3) 効率的、効果的な取り組みを継続的に行うための情報の共有及び連携
- (4) その他本協議会の目的達成に必要な事項に関する協議

### 今後のスケジュール（予定）

- 第 1 回（7 月 30 日） 顔合わせ、本公園の現状等に関する認識共有
- 第 2 回（9 月頃） 将来像、基本的方向性の骨子に関する議論
- 第 3 回（11 月頃） 将来像（案）、今後の取組の内容等に関する議論  
（将来像（案）のパブリックコメント）
- 第 4 回（2 月頃） ビジョンの策定

（R3 年度以降も年 2,3 回程度の開催を予定）

### 協議会メンバー

資料 1-3 参照

(参考) 都市公園法 抄

(協議会)

第十七条の二 公園管理者は、都市公園の利用者の利便の向上を図るために必要な協議を行うための協議会（以下この条において「協議会」という。）を組織することができる。

2 協議会は、次に掲げる者をもつて構成する。

一 公園管理者

二 関係行政機関、関係地方公共団体、学識経験者、観光関係団体、商工関係団体その他の都市公園の利用者の利便の向上に資する活動を行う者であつて公園管理者が必要と認めるもの

3 協議会において協議が調つた事項については、協議会の構成員は、その協議の結果を尊重しなければならない。

4 前三項に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、協議会が定める。

## 国営海の中道海浜公園魅力向上推進協議会 規約（案）

（名称）

第 1 条 協議会の名称は、「国営海の中道海浜公園魅力向上推進協議会」（以下「本協議会」という。）とする。

（目的）

第 2 条 本協議会は、都市公園法第 17 条の 2 に基づき、国営海の中道海浜公園（以下「本公園」という。）の魅力向上ならびに利用者の利便の向上を図るために必要な協議を行うことを目的として設置する。

（協議等）

第 3 条 本協議会は、前条の目的を達成するため、次の各号に掲げる協議等を行う。

- （1）今後の本公園の整備・管理運営の基本的方向性、将来像の整理に向けた協議
- （2）将来像の実現に向けた具体的な取り組みに関する協議
- （3）効率的、効果的な取り組みを継続的に行うための情報の共有及び連携
- （4）その他本協議会の目的達成に必要な事項に関する協議

（委員の構成）

第 4 条 本協議会の委員は、前条の目的を達成するため、次の各号に掲げる者をもって構成する。

- （1）公園管理者
- （2）本公園内で施設等の管理運営を行う者
- （3）学識経験者
- （4）関係地方公共団体
- （5）その他、会長が特に必要と認める者

（委員の任期）

第 5 条 委員の任期は 1 年とする。

- 2 委員は再任することができる。
- 3 補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（会長）

第 6 条 本協議会には、会長 1 名を置く。

- 2 会長は、委員の互選によって決定する。なお、会長に事故があるときは、会長代理を委員の互選によって決定する。
- 3 会長又は会長代理（以下、「会長」という。）は、本協議会の運営・進行に当たるものとする。

(代理出席)

第 7 条 委員が都合により協議会に出席できない場合、その委員は職務上の代理者を協議会に出席させ、委員の職務にあたらせることができる。

(協議会)

第 8 条 本協議会は、委員（委員の代理者含む）の 3 分の 2 以上が出席しなければ、開催することができない。

2 本協議会の議事は、出席委員（委員の代理者含む）の過半数をもって決し、可否同数のときは、会長の決するところによるものとする。

(オブザーバー)

第 9 条 会長は、必要があると認めるときは、委員以外の者をオブザーバーとして本協議会に参加させることができるものとする。

(専門部会)

第 10 条 本協議会は、必要に応じて専門的な事項を協議するため、専門部会を置くことができる。

2 専門部会に部会長を置き、専門部会に属する委員の互選により決定する。なお、部会長に事故があるときは、部会長代理を委員の互選によって決定する。

3 専門部会は、部会長又は部会長代理が運営・進行するものとする。

(公開)

第 11 条 協議会及び専門部会の会議は非公開とするが、会議の資料、議事要旨は、原則として国営海の中道海浜公園事務所のホームページ等において公開する。

(事務局)

第 12 条 本協議会の事務局は、国営海の中道海浜公園事務所に置くものとする。

(雑則)

第 13 条 本規約に定めるもののほか、本協議会の運営に関し必要な事項は、本協議会での協議により定めるものとする。

附則

この規約は、令和 2 年 7 月 3 0 日から施行する。

国営海の中道魅力向上推進協議会 委員名簿

資料1-3

敬称略

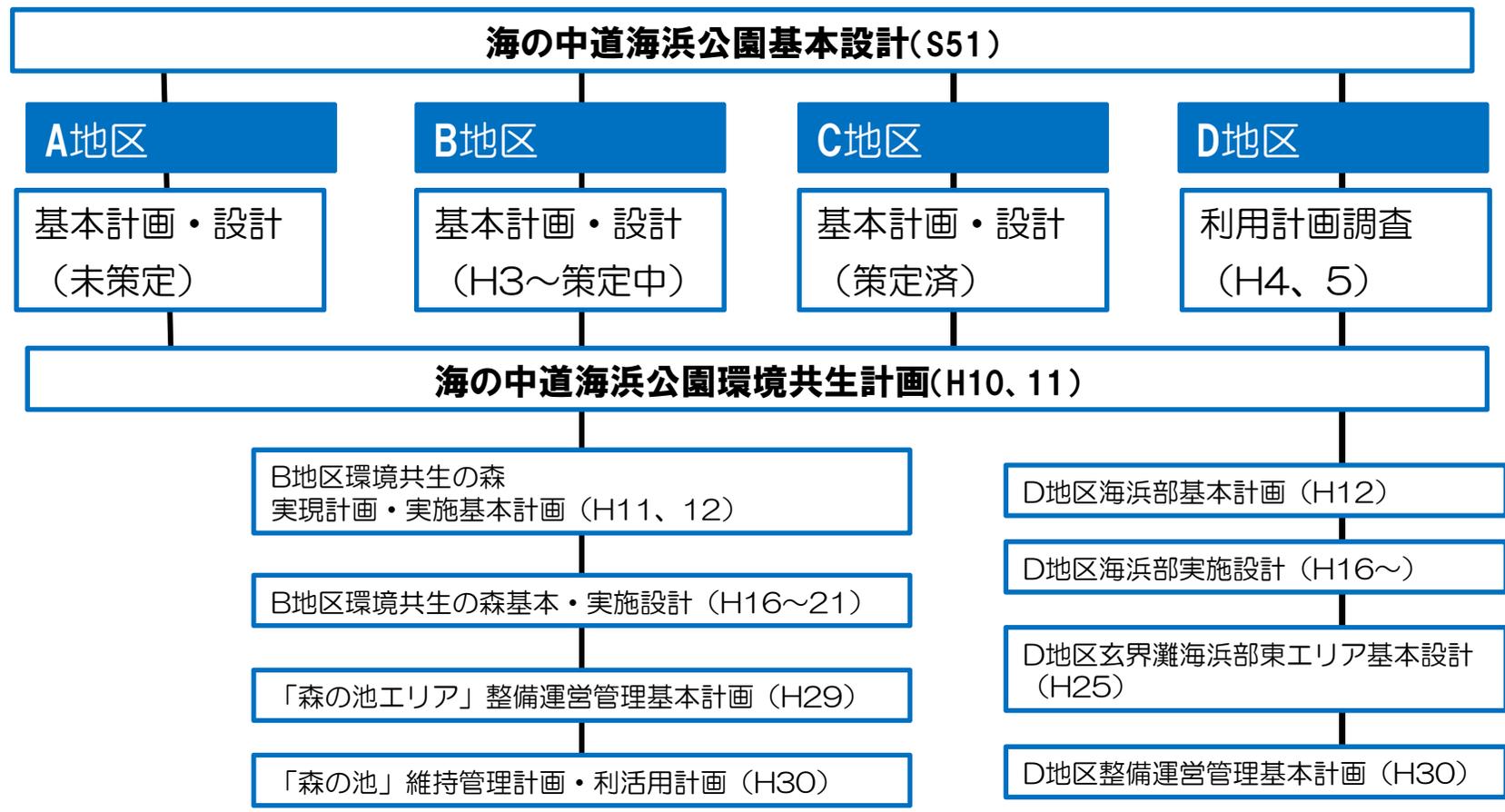
	所 属	役 職	氏 名
学 識 経 験 者	一般社団法人 九州スポーツツーリズム推進協議会	シニアアドバイザー	大江 英夫
	九州大学大学院 芸術工学研究院 環境デザイン部門	教授	包清 博之
	西日本短期大学 緑地環境学科	副学長 教授	久保田 家且
	九州大学大学院 芸術工学研究院 環境デザイン部門	准教授	高取 千佳
	東京農業大学地域環境科学部 造園科学科	准教授	福岡 孝則
園 内 関 係 機 関	海の中道管理センター	管理センター長	八波 信行
	(株)海の中道海洋生態科学館 マリンワールドPFI (株)	代表取締役社長	東 圭司
	(株)Plan・Do・See ザ・ルイガンズ.	ゼネラルマネージャー	水口 文史
	(株)ササキコーポレーション 海の中道マリーナ&テニス	支配人	佐々木 露子
	福岡市 海の中道 青少年海の家 指定管理者 あゆみらい福岡市自然の家共同事業体	所長	安部 倫太郎
	海の中道P-PFI事業コンソーシアム/三菱地所(株) 都市開発部	ユニットリーダー	上田 寛
地 方 公 共 団 体	福岡県 建築都市部 公園街路課	課長	原田 昌宏
	福岡市 住宅都市局 花とみどりのまち推進部	部長	奥田 正浩
公 園 管 理 者	九州地方整備局 建政部	公園調整官	澤田 大介
	九州地方整備局 国営海の中道海浜公園事務所	事務所長	平塚 勇司

資料2

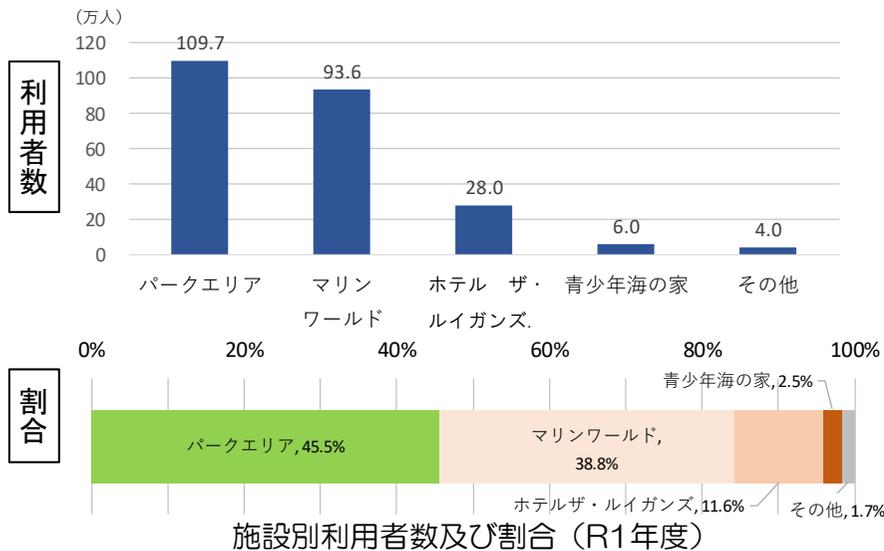
# 公園の将来像(ビジョン)の作成について

# これまでの計画・設計の経緯

- 本公園の計画・設計は、昭和51年の基本設計で全体の計画・設計を行い、その後順次エリア毎の計画・設計を行う形で進めてきた。
- 基本設計後の公園全体に係る計画として、平成10、11年に「海の中道海浜公園環境共生計画」を策定している。



○ 近年では、PFI事業等の官民連携の制度の充実を背景に、民間事業者など、国以外の主体が設置・管理する施設も多く、今後も増加が見込まれる。



### 今後整備予定施設

(B地区 滞在型レクリエーション拠点)

立体アスレチック

全体イメージ



青少年海の家



マリンワールド海の中道



ホテル ザ・ルイガンズ



パークエリア (花の丘)



雁ノ巣レクリエーションセンター

# 公園における国以外の主体の役割の拡大

## ○ 現在の管理・運営の体制

	遊戯施設、管理施設等の全般的な整備、維持管理		
	(対象エリア・施設)	(管理・運営主体)	(事業(契約)期間)
直轄事業(国土交通省)	管理委託		
	一般園地	海の中道管理センター (H31-35国営海の中道海浜公園運営 維持管理業務海の中道公園マネジメン ト共同体)	~R6.1
PFI事業	収益施設		
	ホテル、マリーナ、テニ スコート、駐車場	(株)海の中道リゾート	~R22.3
設置管理許可	マリンワールド、 駐車場	マリンワールドPFI(株)	~R18.3
	青少年海の家	福岡市 こども未来局 (指定管理:あゆみらい福岡市自 然の家共同事業体)	~R12.3
P-PFI事業(予定)	B地区カモ池周辺	海の中道P-PFI事業コンソー シアム	~R22.4
条例に基づく管理	雁ノ巣レクリエーション センター	福岡市 住宅都市局 (指定管理:(一財)公園財団)	~R10.3

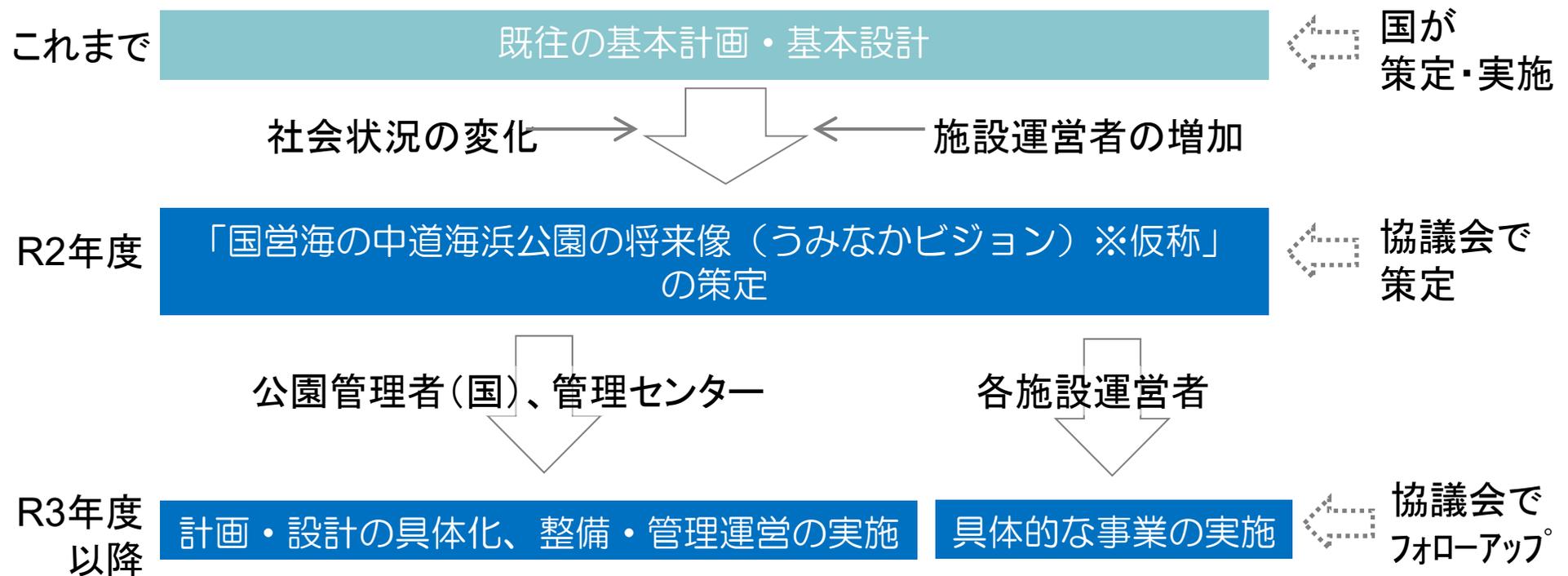
- 本公園の整備・管理運営に当たっては、これまでも社会状況の変化等を反映して適宜計画の見直し等を行いながら進めてきたところ。
- 今後も、概ね10年後の令和10年代前半を予定している概成開園に向けた将来像を明確にしつつ、更にその先の20年後、30年後も本公園が継続的にストック効果を高めていけるよう、計画的な取組を推進する必要がある。
- 一方、公園整備、運営における民間事業者等の役割が拡大している現状を踏まえると、公園管理者である国だけではなく、園内の施設を運営する各主体とも公園全体の将来像、基本的方向性を共有した上で、共通の目標に向けて連携し、相乗効果によって事業効果を高めていくことが必要。



## 今後の本公園の方向性

公園全体の将来像、基本的方向性を、公園管理者、園内施設運営者、有識者等からなる協議会で整理し、当該将来像等に基づく計画的・継続的な取組を実施

- 概ね10年後の公園の将来像に向けた整備・管理運営の基本的方向性を定めた計画
- 既往の計画・設計における理念、基本方針等を基本としつつ、社会情勢の変化、公園施設の設置・運営に係る主体の増加等を踏まえた見直しを行い、改めて整理しなおすもの



本協議会での  
議論の予定

## 1. 背景等

本公園の計画、歴史、現状 等

## 2. 社会情勢の変化

少子高齢化、官民連携 等（資料として、国のあり方検討会報告書、社会資本整備審議会資料、福岡県・福岡市の取組等を紹介）

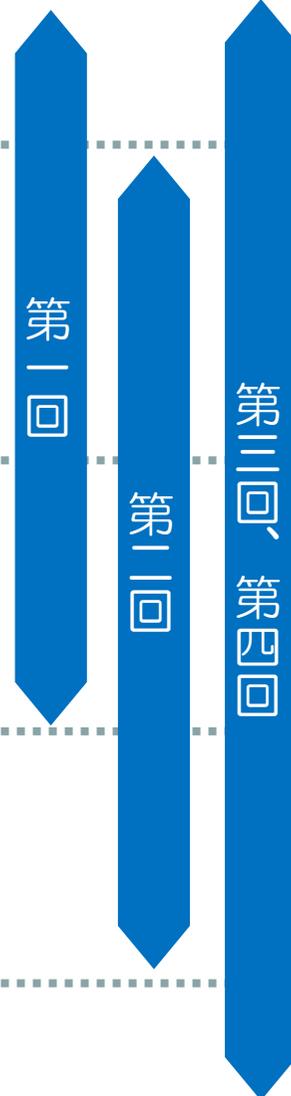
## 3. 本公園の将来像

10年後に目指す本公園の姿を「〇〇な公園」等として整理（4, 5本の柱を想定）

## 4. 将来像実現に向けた整備・管理運営の基本的方向性

エリアごとの整備・管理運営の方向性、具体的な取組の方向性 等

## 5. 継続的なフォローアップ



資料3

# 海の中道海浜公園の歴史

# 海の中道海浜公園の歴史①

～国営公園供用開始前～

年度	～1971	1972	1973	1974	1975	1976	1977	1978	1979	1980
	～S46	S47	S48	S49	S50	S51	S52	S53	S54	S55
社会の出来事		<ul style="list-style-type: none"> <li>●パンダ2頭が上野動物園に来日</li> <li>●日本列島改造論</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●オイルショック</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●「およげ たいやきくん」が大ヒット</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●都市公園法改正(国営公園制度創設)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●成田空港開港</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●第二次オイルショック</li> </ul>	
公園に関する出来事		<ul style="list-style-type: none"> <li>●米軍博多基地返還</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●雁ノ巣公園建設連絡協議会発足</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●国有財産北九州地方審議会返還財産部会において大規模公園用地としての利用計画を了承</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●海の中道海浜公園基本設計</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●国営公園の区域決定、工事着手</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「海の中道海浜公園」都市計画決定</li> </ul>	 <p>S50年撮影(C地区付近)</p>	 <p>S39年撮影(米軍博多基地時代)</p>	 <p>S51.3 基本設計より</p>

# 海の中道海浜公園の歴史②

～ 供用開始から10年間 ～

年度	1981	1982	1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990
	S56	S57	S58	S59	S60	S61	S62	S63	H1	H2
社会の出来事			●東京ディズニーランド開園	●日本の総人口が1億2000万人に	●つくば万博開催			●よかとピア(アジア太平洋博覧会)開催		●スペースワールド開園
公園に関係する出来事		●供用開始(西口広場、大芝生広場、動物の森) 【供用施設等】	●サンシャインプールの森	●観覧車		●ホテル海の中道		●マリンワールド海の中道(第一期)、青少年海の家、いこいの森		
										
								バブル景気		

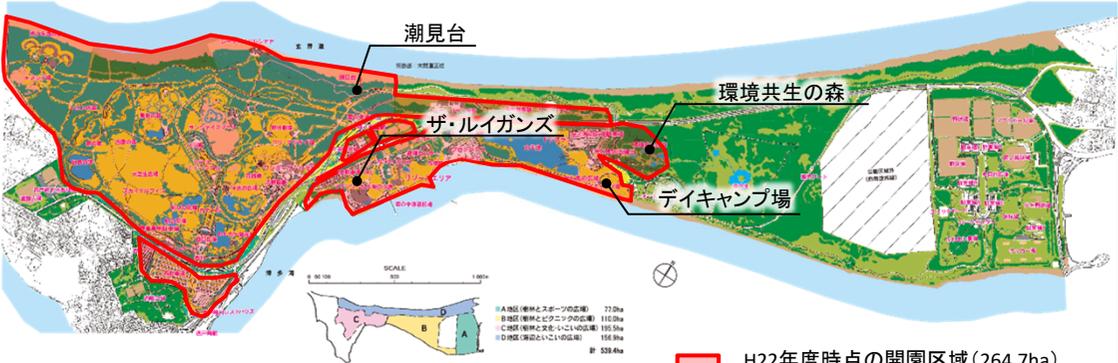
# 海の中道海浜公園の歴史③

～ 供用開始後10～20年間 ～

年度	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	
	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	
社会の出来事	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ハウステンボス開園</li> <li>● お立ち台ディスコジュリアナ東京オープン</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 環境基本法</li> <li>● 博多港国際ターミナル開設</li> <li>● 福岡ドーム完成</li> </ul> <p>バブル崩壊</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地下鉄サリン事件</li> <li>● 阪神・淡路大震災</li> <li>● アイランドシティ事業開始</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 大阪ドーム、ナゴヤドーム完成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 環境影響評価法</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● モテ法施行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● USオープン</li> <li>● 循環型社会形成推進基本法</li> </ul>	
公園に関する出来事	<p>【供用施設等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 野外劇場、シーサイドヒルシオヤ</li> </ul>  <p>野外劇場</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● バラ園</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>● マリンワールド海の中道(第二期)</li> </ul>  <p>マリンワールド</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 彫刻の森、四季の森</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● スカイドルフィン</li> <li>● 森の家</li> </ul>  <p>スカイドルフィン</p>  <p>森の家</p>	 <p>H7年撮影</p>	 <p>森の家 野外劇場 スカイドルフィン マリンワールド海の中道 フラワーミュージアム</p> <p>SCALE: 1/5000</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>A地区(樹林とスポーツ広場) 77.0ha</li> <li>B地区(樹林とピクニック広場) 110.0ha</li> <li>C地区(樹林と芝生広場) 195.5ha</li> <li>中地区(樹林と公園広場) 156.0ha</li> <li>計 538.5ha</li> </ul> <p>■ H12年度時点の開園区域(205.5ha)</p>			

# 海の中道海浜公園の歴史④

～ 供用開始後20～30年間 ～

年度	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	
	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	
社会の出来事	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 東京デイズニーシーオープン</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 六本木ヒルズ完成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 福岡県西方沖地震</li> <li>● 景観緑三法</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 第22回全国都市緑化ふくおかフェア</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 観光立国推進基本法</li> <li>● バリアフリー新法</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>● iPhone日本発売</li> <li>● リーマンショック</li> <li>● 生物多様性基本法</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 政権交代(自民↓民主)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 大濠公園にスターバックスコーヒーオープン</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 東日本大震災</li> </ul>
公園に関係する出来事	<ul style="list-style-type: none"> <li>● B地区光と風の広場、デイキャンプ場</li> <li>【供用施設等】</li> </ul>  <p>H19年撮影(B地区付近)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● デイキャンプ場</li> </ul>  <p>デイキャンプ場</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● フラワーミュージアム</li> </ul>  <p>フラワーミュージアム</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● D地区潮見台エリア</li> </ul>  <p>潮見台</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ホテル海の中道が「ザ・ルイガンズ」としてリニューアル、花の丘</li> </ul>  <p>ザ・ルイガンズ、* *ザ・ルイガンズ、HPより引用</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 環境共生の森</li> </ul>  <p>環境共生の森</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 海の松原</li> </ul>  <p>海の松原</p>	 <p>潮見台 ザ・ルイガンズ 環境共生の森 デイキャンプ場</p> <p>SCALE 1:5000</p> <p>■ A 地区(樹林とスポーツの広場) 77.0ha ■ B 地区(樹林とスポーツの広場) 110.0ha ■ C 地区(樹林と芝生広場の広場) 105.5ha ■ D 地区(樹林と芝生広場の広場) 156.9ha ■ E 地区(樹林と芝生広場の広場) 59.4ha</p> <p>■ H22年度時点の開園区域(264.7ha)</p>			

# 海の中道海浜公園の歴史⑤

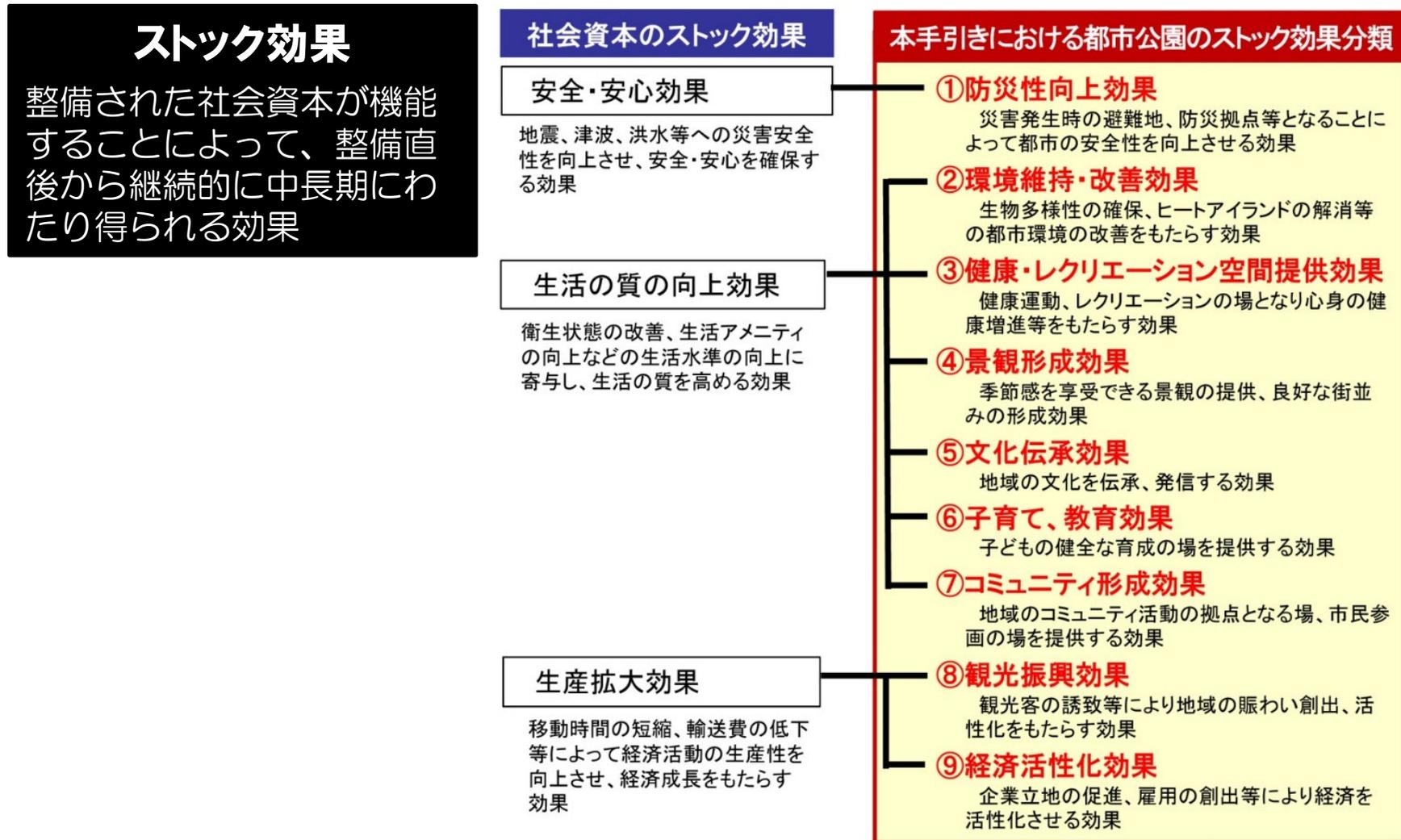
～ 供用開始後30年以降 ～

年度	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020		
	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2		
社会の出来事	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 東京スカイツリー完成</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>● 熊本地震</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>● スペースワールド閉園</li> <li>● 都市公園法改正</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>● 東京オリンピック</li> </ul>		
公園に関係する出来事	<ul style="list-style-type: none"> <li>● くじらぐもふわんぼりん</li> </ul>  <p>くじらぐもふわんぼりん</p>			<ul style="list-style-type: none"> <li>● 観覧車営業終了</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>● 博多湾パノラマ広場</li> <li>● マリンワールド海の</li> <li>● 中道PFI事業開始</li> </ul>  <p>博多湾パノラマ広場</p>			<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「ザ・ルイガンズ」等 PFI事業開始</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 森の池開園</li> </ul>
	 <p>H23年撮影 (B地区付近)</p>			 <p>敷地計画図の凡例:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ A地区 (樹林とスポーツの広場) 77.0ha</li> <li>■ B地区 (樹林とスポーツの広場) 110.0ha</li> <li>■ C地区 (樹林とスポーツの広場) 105.5ha</li> <li>■ D地区 (樹林とスポーツの広場) 106.8ha</li> <li>■ 計 399.3ha</li> </ul> <p> <span style="border: 2px solid red; padding: 2px;">  </span> R1年度末時点の開園区域 (297.9ha)  <span style="border: 2px solid blue; padding: 2px;">  </span> R2年4月開園 (51.8ha)         </p>								

資料4

# 海の中道海浜公園のストック効果

○ 都市公園のストック効果は、以下9つの効果に分類・整理される。



※それぞれの効果は相互に関連しており、厳密に分けられるものではない



# 地震等の発生時に約15万人(※)が避難できる避難地を確保

(※) 約15万人 = 307,500㎡ (避難場所面積) ÷ 2㎡/人 (広域避難地の有効避難単位面積)

※出典「防災公園の計画・設計に関するガイドライン(案)(平成27年9月改訂版)」

○公園内の広場や駐車場が福岡市の地区避難場所、広域避難場所に指定されており、地震等の災害時に避難者を受け入れ可能。

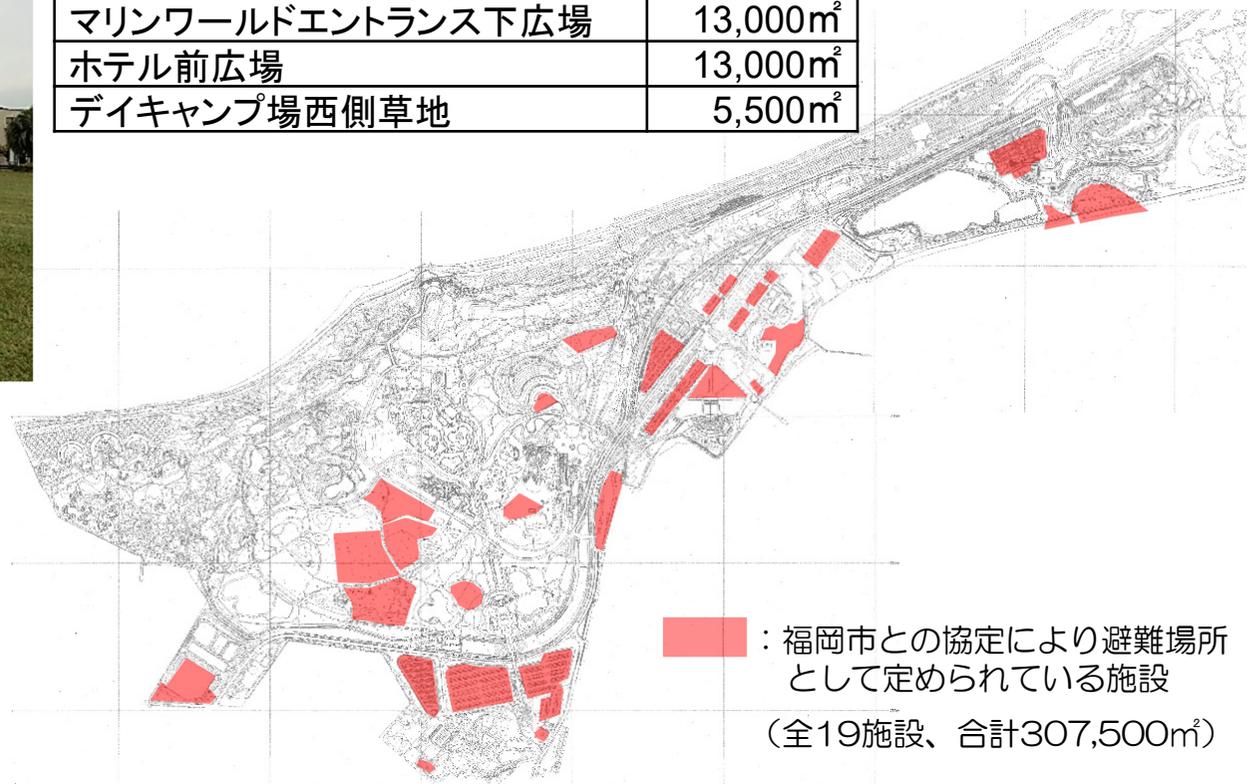
## ●避難場所の例



(ホテル前広場)

## ●主な避難場所

対象施設名	面積
西戸崎グラウンド	16,000㎡
マリンワールドエントランス下広場	13,000㎡
ホテル前広場	13,000㎡
デイキャンプ場西側草地	5,500㎡



■ : 福岡市との協定により避難場所として定められている施設  
(全19施設、合計307,500㎡)

# 新たに10ha(サッカー場10面分(※))以上の緑を創出

(※) 「スタジアム標準」(JFA)のフィールドの大きさ:  $125\text{m} \times 85\text{m} = 10,625\text{m}^2$ をもとに算出

○開園以来、D地区の松の植林やB地区における新たな森づくり等の自然環境の保全・創出に取り組んでおり、少なくとも約11.7haの緑地が新たに創出された。

## D地区のマツ林の植栽効果



開園当初の青少年海の家付近(S56年)



計画的なマツの植栽(青少年海の家上空写真)



概ね3.4haの緑を新たに創出

青少年海の家付近(R2.3)

## B地区の森づくりの効果



開園当初の環境共生の森付近(S56年)



植樹の様子



概ね8.3haの緑を新たに創出

環境共生の森付近(R2.3)



# 年間200万人以上が訪れる広域レクリエーション拠点を創出

〇時代に応じて多様な魅力を提供することで、福岡市を代表するレクリエーション拠点として定着。県内・県外から広域的に利用される施設となっている。



フラワーミュージアム

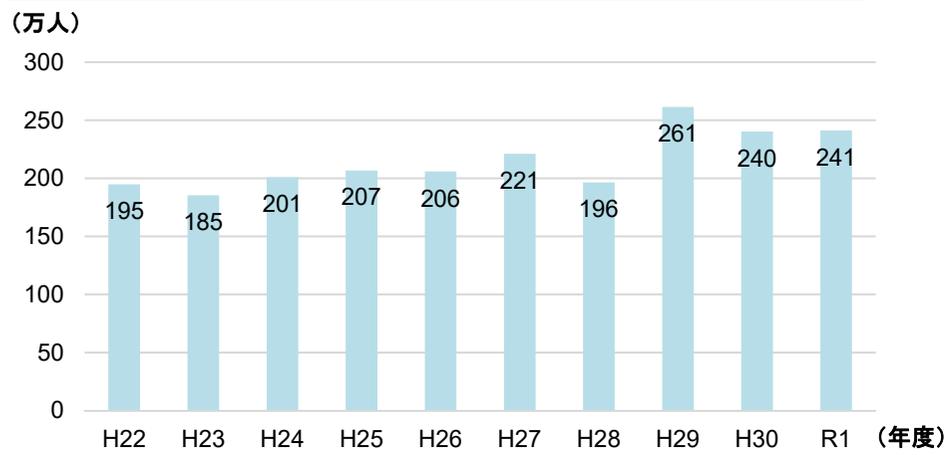


サンシャインプール

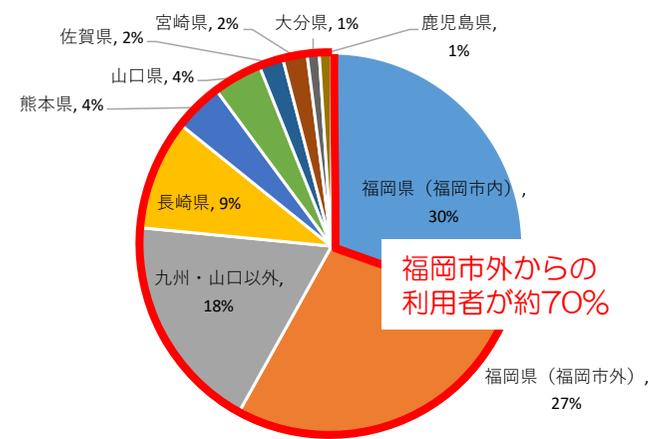


大芝生広場

## 過去10年間の入園者数の推移



## 公園利用者の居住地割合 (R1年度)



出典: R1海の中道海浜公園利用実態調査

# 「日本の白砂青松100選<sup>(※)</sup>」に選ばれる松原を保全・育成

(※) (社)日本の松の緑を守る会が選定した100ヶ所の日本の景勝地

○クロマツ林を保全・育成し、海の中道固有の白砂青松の景観を保全。本公園区域を含む海の中道の松原が「日本の白砂青松100選」に選定されている。



## クロマツ林育成の取組



▲樹幹注入の様子



▲機械による薬剤散布



▲人力による薬剤散布



▲密度管理のための間伐

子育て

# 年間76万人(福岡県内の子供の人口以上(※))の子供が遊び、学ぶ場

(※) 福岡県のこども人口(15歳未満の人口)推計値: 669,394人(平成31年4月)をもとに算出

○豊かな自然と広大な敷地を活かした様々な遊具や多様な環境学習プログラムを提供。子供たちが自然豊かな環境の中で遊び、学べる場となっている。



子供の広場

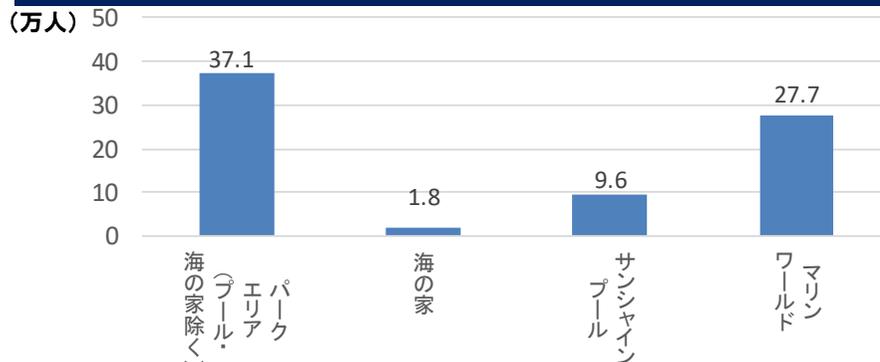


工作体験(森の家)



カッター教室(海の家)

## 主要施設の子供(中学生以下)の利用者数



【主要施設の子供の利用者数(R1年度)】

※マリンワールドは年間パス利用者を除く

## 青少年海の家(教育施設)



- 福岡市が運営する青少年教育施設
- R1年度活動参加学校数: 171校

※参考: 福岡市内の小中学校数: 149校  
中学校数: 82校(R1.5.1現在)

# 年間(※)を通じてボランティアが活躍している公園

(※) ボランティア等のR1年度活動回数：324回

○様々なボランティア団体や個人ボランティアが、森の育成やイベントのサポート等に参画。学校や企業等の団体の社会貢献の場、地域住民同士の交流の場としても機能。



講習会の実施（ディスクゴルフボランティア）



チューリップの植え付けボランティア



キャンドルナイトボランティア

## ●登録ボランティアの活動実績（R1年度）

ボランティア名（登録者数）	延べ活動人数	活動回数
海の中道フラワーボランティア(34名)	268名	36回
バラフレンズ(21名)	89名	29回
海の中道サポートクラブ(38名)	349名	44回
動物の森ZOOボランティア(22名)	136名	52回
環境共生の森サポートボランティア(38名)	689名	76回
野鳥ボランティア(4名)	19名	10回
紙ヒコーキボランティア(8名)	10名	3回
ディスクゴルフボランティア(22名)	121名	21回
公園見守り隊(6名)	25名	10回
<b>合計</b>	<b>1,076名</b>	<b>281回</b>

## ●市民活動の活動実績（R1年度）

ボランティア名	延べ活動人数	活動回数
ファミリーボランティア	542名	10回
プチボランティア	162名	13回
企業・団体等ボランティア	2,052名	20回
<b>合計</b>	<b>2,756名</b>	<b>43回</b>

# 観光

## 福岡市No.1(※)の観光地

(※) トリップアドバイザー 福岡市の観光スポットランキング第1位

○福岡市を代表する観光地として、外国人を含む多くの観光客が訪れる。(R1年度の外国人入園者数：約9万人。対H30年度比約130%)



### 福岡市の観光スポットで第1位

「福岡市の観光スポット」人気ランキング

順位	施設名
1位	海の中道海浜公園
2位	マリワールド海の中道
3位	博多駅
4位	能古島
5位	大濠公園

データ出典：トリップアドバイザー（令和2年2月10日時点）

人気ランキング：このランキングは、トリップアドバイザーの口コミの質、量、および投稿時期により計算された人気度に基づき施設やスポットを比較したものです。人気ランキングは特定のエリア内の類似する施設をランク付けし、旅行者に相対的な人気度を提示します。トリップアドバイザーの人気ランキングは通常週に1度更新されます。

(トリップアドバイザー ヘルプセンターページより抜粋)

### 外国人観光客の高い関心

福岡市の公式観光サイト「よかなび」のスポット情報閲覧ランキングにおいて、英語、中国語とも本公園が上位の閲覧数

順位	日本語	英語	韓国語	中国語 (繁体字)	中国語 (簡体字)
1位	このしまアイランドパーク	海の中道海浜公園	キャナルシティ博多	海の中道海浜公園	海の中道海浜公園
2位	海の中道海浜公園	天神地下街	シーサイドももち海浜公園	櫛田神社	太宰府天満宮
3位	博多デイトス	櫛田神社	太宰府天満宮	舞鶴公園	天神地下街

出典：「福岡市の観光・MICE」2020年版（表は2019年の閲覧数）

活力

## 全国から人が集まるイベントの開催で地域経済を活性化

○野外コンサートや福岡国際クロスカントリー大会などの全国から集客を期待できる大型イベントの開催により、地域経済の活性化に貢献。



NUMBER SHOT

- 毎年夏に行われる九州を代表する大規模野外音楽フェスティバル

(参加者数:34,081人※R1年)



福岡国際クロスカントリー大会

- 毎年2月に行われる日本陸上競技選手権大会の種目
- 全国はもとより、外国人選手も招待される

(参加者数:6,821人※H30年)

資料5

# 既往の計画・設計と 社会情勢の変化、将来像のキーワード

## 資料目次

1. 本公園の基本計画・基本設計
2. 社会情勢の変化、国土交通省の方向性
3. 都市公園を取り巻く状況の変化
4. 福岡県・福岡市の計画、公園周辺の開発状況
5. キーワード案

## 海の中道海浜公園基本設計（S51.3）

### ○基本理念 ※要約

基礎条件：“海の中道”の歴史的形成過程とその進化の方向性と自然生態的段階の認識

テーマ：海の中道の自然体系と21世紀へ向けての文化・レクリエーション展望の共生環境の創造

目標1：高度な生態的段階の環境を創出すること

目標2：循環的かつ長期的に需要を喚起しうる内容と質を確保すること

※重要キーワード案

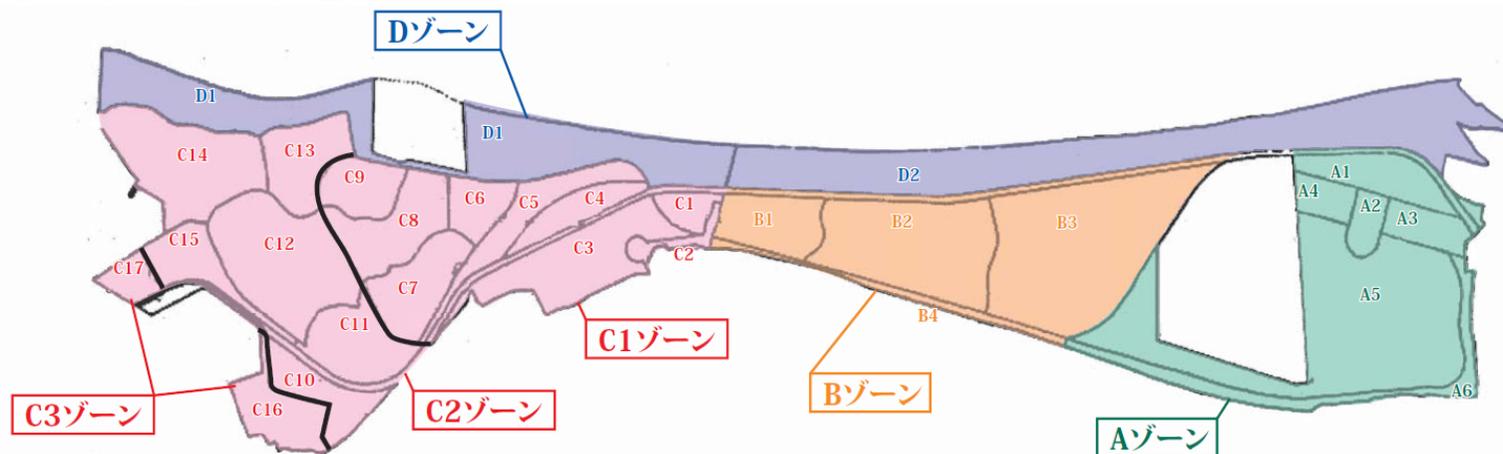
### ○基本方針 ※要約

a.社会条件 に対して	<ul style="list-style-type: none"> <li>○福岡市のレクリエーション一大拠点、北部九州圏域の広域緑地系統の一環として位置付け。即ち、日帰り利用を主体としながらも、既存施設を活用した宿泊利用も考慮。</li> <li>○隣接、近隣地域への本公園建設が与える影響を十分検討して、共存関係が成立するための条件に配慮しながら計画策定を進める。</li> </ul>
b.自然条件 に対して	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新たな造成に当たっては、既存の植生、地質、土壌条件等を十分考慮する。</li> <li>○全域が地表を除いて砂地である為、土壌改良又は土壌置換を行う事により植栽に適した土壌条件をつくる。</li> <li>○臨海性の植生を改善し二次林の形成を促進しつつ、緑地帯を拡大発展させる。</li> <li>○淡水と塩水の自然的バランスを破壊しないように池の造成を考慮する。</li> </ul>
c.計画条件 について	<ul style="list-style-type: none"> <li>○スケールメリットを生かし自然公園的な性格をベースに通年利用可能な計画とする。</li> <li>○利用需要の多い夏季の海岸レクリエーション利用に対しては特別に考慮。ただし海岸線の現状保全を前提とし、一部浸蝕防止対策を行う。</li> <li>○北から吹く潮風の防風処置を植栽や盛土により講じる。</li> <li>○限界利用者に対して利用抵抗を小さく各年齢層の人々が平等に楽しめる企画を立案。</li> <li>○池の造成の切盛は整合させる。池は自然な地下水位の変動に対応するものとする。</li> </ul>

## 海の中道海浜公園基本設計 (S51.3)

### ○ 土地利用計画 (ゾーニング)

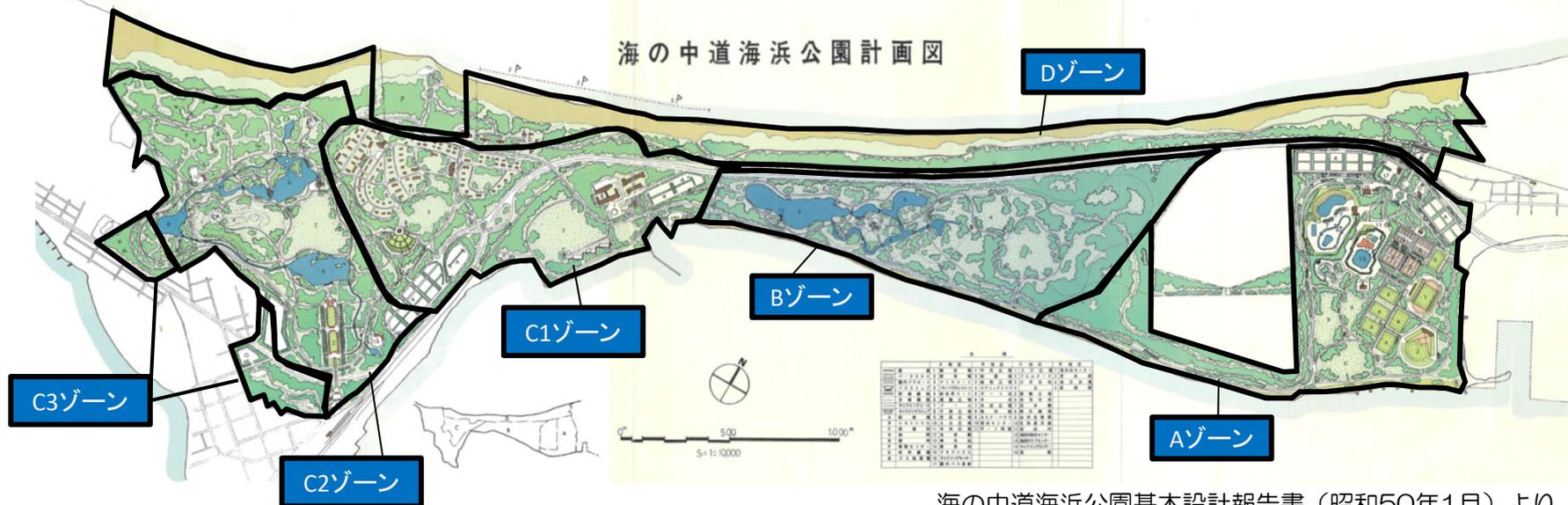
各ゾーンは“緑の樹林” “碧い海” そして“輝く太陽” を基調に全体的調和を図りながら新たなランドスケープを創造。



Aゾーン	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種運動施設を集約整備したゾーンで、船による来園者を除けば最初に到達するゾーン。</li> </ul>	C2ゾーン	<ul style="list-style-type: none"> <li>松林の林間と大芝生園でのびのびと自然を楽しみ、ゾーン北側に公園の特徴である松林と外海によるダイナミックな風景を形成するゾーン。</li> </ul>
Bゾーン	<ul style="list-style-type: none"> <li>一部に砂採取跡の広大な淡水池を含む民有地と林野庁の所有地をまたぐこと等から、極力建築施設によらずに、植栽によってレクリエーションスペースを形成するゾーン。</li> </ul>	C3ゾーン	<ul style="list-style-type: none"> <li>本公園と西戸崎町の接点にあたる為、地域住民と本公園利用の抵抗を極力少なくするクッション的役割を持つゾーン。</li> </ul>
C1ゾーン	<ul style="list-style-type: none"> <li>現況土地利用において最も施設率が高く、地形的にも管理し易く、公園の重心的位置にある事等から、施設型のアクティブなゾーン。</li> </ul>	Dゾーン	<ul style="list-style-type: none"> <li>北風を防ぐ機能を持ち、黒松の既存植林を保全する目的を持つゾーンであり、利用と保全の問題を運営管理上の重要な課題とするゾーン。</li> </ul>

## 海の中道海浜公園基本設計 (S51.3)

### ○ 計画平面図・主要な計画施設



海の中道海浜公園基本設計報告書（昭和50年1月）より

Aゾーン	○噴水広場 ○池 ○花壇の丘 ○屋内競技場 ○屋内プール ○サイクリングセンター ○徒歩プール ○子供運動広場 ○沈床園 ○屋外競技場 ○グラウンド ○馬術練習場 ○海辺散策園 等	C2ゾーン	○プロムナードブリッジ ○ゲート広場 ○大沈床園 ○池 ○レストハウス ○サイクリングセンター ○噴水池 ○大芝生園 ○温室 ○小動物放飼園 ○茶室 ○野鳥の森 等
Bゾーン	○レストハウス ○休憩の丘 ○家族広場 ○憩いの広場 ○ゲーム広場 ○芝生の広場 ○クロスカントリーコース ○林間広場 ○海辺散策園 等	C3ゾーン	○近隣広場 ○イモ堀園 ○運動広場 等
C1ゾーン	○催し広場 ○サイクリングセンター ○海洋教室 ○海の生態館 ○宿泊研修センター ○記念園 ○苗圃園 ○野外劇場 ○こども園 ○彫刻広場 ○海浜センター ○プール 等	Dゾーン	○海浜植物園 ○海浜ピクニック場 ○海水浴場 ○マリンハウス(休憩所) ○海浜散策園 等

## 海の中道海浜公園環境共生計画（H11.3）

### ○ 計画の策定目的（地域の環境向上のための海の中道海浜公園の役割（要約））

地球規模の環境の保全への関心の高まりを受け、都市公園で最も大規模な国営公園においては、自然の回復・保全だけでなく、積極的に**環境保全**の必要性および**循環型社会**の必要性をアピールする拠点として機能することが必要。

こうした観点から、海の中道海浜公園を環境共生という特色を持った都市緑化植物園の姿像を探る実践モデルの場として、さらに環境共生の考え方から北部九州における循環型社会を目指す上での中核として、海の中道海浜公園環境共生計画を策定する。

### ○ 基本方針

- ①特に生命という原点に立ち、環境共生の取り組みについて計画を立案する。
- ②海の中道海浜公園の循環によるゼロエミッションのあり方とその実現を目指す。
- ③海の中道海浜公園らしい**環境教育**の場、また環境共生の研究の場、さらにこれらに関する**市民参加の場**を目指す。
- ④21世紀にふさわしい地球環境に配慮した**新たなライフスタイル実践の場**を目指す。
- ⑤バイオリージョナリズム（生命地球主義）の考え型にのっとり、公園の周辺地域における環境共生実現の核、国家レベルでの環境共生に係る情報収集・発信の核を目指す。
- ⑥環境共生というテーマに基づいて、既存の公園施設の利活用や連携を目指す。
- ⑦環境共生にふさわしいデザインによる空間環境の創出を目指す。
- ⑧環境共生計画の検討の過程で、将来公園計画の施設見直しが必要な個所については見直しを行う。

## 海の中道海浜公園環境共生計画の策定

### を踏まえた基本計画の改訂（案）（H12.2）

- 環境共生計画の策定を踏まえ、主にB地区を中心に既往の計画・設計の内容を見直すとともに、その他の地区についても時点更新を実施。



海の中道海浜公園環境共生計画（H11.3）より

### ○ 主な改定の内容

A地区	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 福岡市の港湾道路整備計画に伴う、公園入口動線の変更。</li> <li>2. 利便性の向上を考慮し駐車場を中心部に移動。</li> </ol>	C地区	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 現存施設の環境共生上のソフト面の検討。</li> </ol>
B地区	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. <b>中心部に環境教育やエコライフの実践の場としての「環境共生の森」を位置付ける。</b></li> <li>2. 1に伴いゴルフ場計画をとりやめる。</li> <li>3. 松林内に計画されていたオートキャンプ場は、利用者の利便性の考慮と、環境共生の森の位置づけにより、博多湾側に移動。</li> <li>4. C地区との関連を考慮して有料区域の見直しを行う。</li> </ol>	D地区	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. <b>海水浴場をとりやめる。 （海流と水深の面で不適）</b></li> <li>2. 防潮・防砂機能の向上を図る。</li> </ol>

## 海の中道海浜公園整備・管理運営プログラム（H29.3）

### ○ 平成32年度（令和2年度）までの整備・管理運営重点事項

#### 1. 「白砂青松」の松林育成保全【ストック効果向上】

ここはかつて人も住めず、植物も生えない不毛の砂地でしたが、江戸時代（1660年代）から人の手でクロマツを植えてきたことで、今のような環境がつけられました。「海の中道」の環境や地域住民の生活を守るためにこのクロマツ林を後世につないでいくことが非常に重要であるため、今後も松林育成保全に取り組みます。

#### 2. 公園環境向上の取り組み～「体験・経験の場」の確保～【ストック効果向上】

豊かな自然環境を活かし、環境教育の場としての機能を強化することにより、北部九州地域における環境学習フィールドの核となるよう公園整備を推進します。また、地域住民等との協働による新たな森づくりや、松林再生を推進する等、**広大で豊かな自然環境を活かした「体験・経験」の拠点**となる公園となるよう取り組みます。

また、フラワーピクニックなどの大型イベントを充実させ、公園の魅力向上を図るとともに、積極的に情報発信を行うなど、公園の利用促進に取り組みます。

#### 3. 新たな「利活用プログラム」の推進【民との連携加速・柔軟活用】

約539haという広大な敷地を生かし、利用者ニーズを踏まえた新たな利活用プログラムの検討や**多様な施設・主体と連携**を図り、季節に応じた多種・多様なスポーツイベント等を実施することにより、**広域レクリエーション需要に対応する魅力ある公園**となるよう取り組みます。

#### 4. 来園者の安全・安心の確保【民との連携加速・柔軟活用】

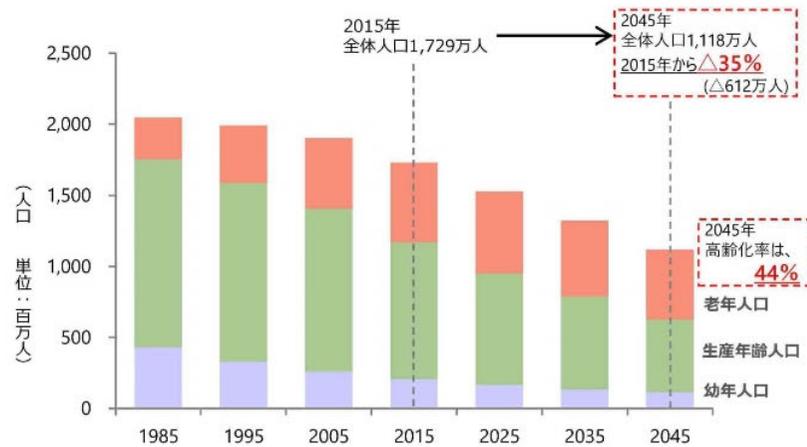
市民団体等と連携し、**インバウンド**や利用者ニーズの多様性に配慮しつつ、**ユニバーサルデザイン**を念頭に置いて、すべての人々が安全・安心に楽しむことができる公園となるよう公園整備・管理に取り組みます。

1. 本公園の基本計画・基本設計
- 2. 社会情勢の変化、国土交通省の方向性**
3. 都市公園を取り巻く状況の変化
4. 福岡県・福岡市の計画、公園周辺の開発状況
5. キーワード案

- 地方圏を中心に全国的に人口の減少・高齢化が進んでおり、地方圏から東京圏への流出が続くなど、人口の地域的偏在が進行。
- 一方で、三大都市圏の居住者の間では、居住地域以外との交流の動きが見られ、地域の潜在力を発揮する新たな機会に。

## ■ 人口の減少・高齢化の進行

- 我が国全体において、2045年には、2015年から**総人口が16%減少**し、**高齢化率が37%**に達する見込み。
  - 5万人クラスの都市では、2045年に**全体人口が35%減少**し、**高齢化率は44%**に達するなど、**地方圏での人口減少・高齢化は顕著**。
- ※ 2050年には、全国の居住地域の約51%（面積ベース）で、人口が2015年から半数以上減少する見込み。

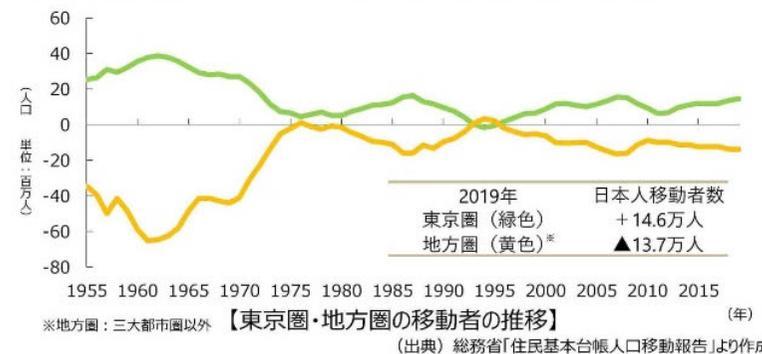


【5万人クラス都市の人口の推移】

※「5万人クラス都市」＝三大都市圏、県庁所在地都市を除く、人口5万人未満の市町村  
 (注)福島県は県全体での推計しか行われていないため、集計の対象外とした。  
 (出典) 2005年までは総務省統計局「国勢調査報告」Ⅱ、2015年は総務省統計局「平成27年国勢調査人口等基本集計」、  
 将来の推計値は、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口」（平成30年推計）より作成

## ■ 人口の地域的偏在の進行

- **東京圏への人口流入**が続く一方、**地方圏からは継続的に流出**。



## ■ 居住地域以外との交流

- 三大都市圏の18歳以上のうち、**約2割強（約1,080万人）が日常生活圏、通勤圏以外の地域と定期的・継続的な関わり**があり、かつ、訪問。
- リニア中央新幹線の開通により、**三大都市圏から片道4時間以内に到達可能な都市が増加**する見込み。(95→112県庁所在地(三大都市圏全体))



【三大都市圏から片道4時間で到達可能な47都道府県の県庁所在地数】

- 北東・東南アジアの経済活動は拡大しており、アジア諸国の急速な成長等により、国際競争はますます激化。
- 国内の生産年齢人口が減少する中、周辺諸国の経済成長の取り込みは、日本にとってより重要に。

## ■ 北東・東南アジアの経済活動の拡大

- 北東・東南アジアの域内貿易は1990年以降約**8.1倍**に拡大するとともに、域外との貿易活動も大幅に拡大。



## ■ 生産年齢人口の減少

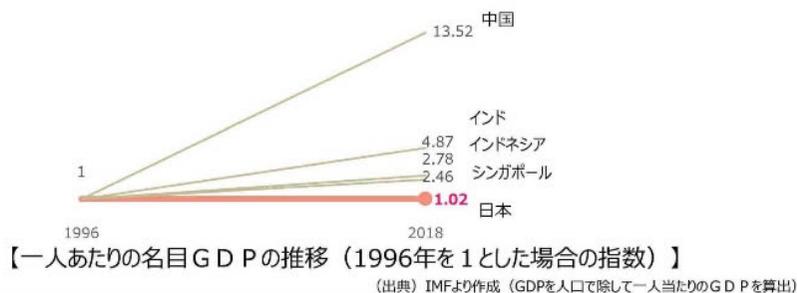
- 今後の30年間で、生産年齢人口が約**28%**減少する見込み。



(出典) 総務省「人口統計」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口 (平成29年推計)」より作成

## ■ 周辺諸国との競争の激化

- 1996年以降、一人あたり名目GDPは概ね変化しておらず、順位は**3位から26位に後退**。この間、**アジア諸国は急速に成長**。



## ■ 訪日観光需要の拡大

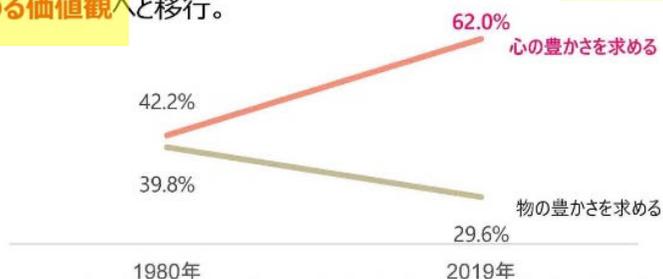
- 訪日外国人旅行者数は、2012年からの7年間で約**3.8倍**に増加。



- 国民のライフスタイルや意識・価値観の変化を踏まえ、自然との調和や人々が安心して生活・移動できる優しい社会の実現が重要に。
- 持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現は国際的にも重要に。

## 国民の意識・価値観の変化

- 直近の数十年間に、物の豊かさを求める価値観から、**心の豊かさを求める価値観**へと移行。



【「これからは心の豊かさか、まだ物の豊かさか」に関する国民の意識】

(出典) 内閣府「国民生活に関する世論調査」より作成

## 自然との調和への関心の拡大

- 数十年前に比べ、自然を征服・利用するのではなく、**自然に従うべきとする価値観**が拡大。



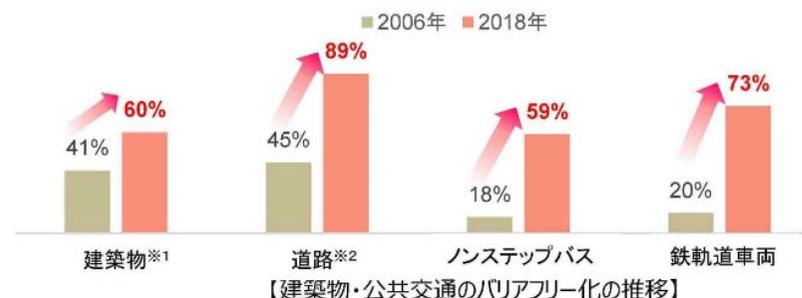
- 人間が幸福になるためには、自然に従わなければならない
- 人間が幸福になるためには、自然を利用しなければならない
- 人間が幸福になるためには、自然を征服してゆかなければならない

【自然と人間に関する意識】

(出典) 大学共同利用機関法人情報・システム研究機構統計数理研究所「国民性の研究」より作成

## 公共空間におけるバリアフリー化

- この十数年間に公共空間での**バリアフリー化が大きく進展**。



【建築物・公共交通のバリアフリー化の推移】

※1 2,000㎡以上の特別特定建築物（公共施設・高齢者施設等）

※2 バリア法における「重点整備地区」内の主要な生活関連経路を構成する道路

## 持続可能・多様・包摂的な社会に向けた国際的な議論

- 「SDGs」の理念を踏まえ、**持続可能で多様性と包摂性のある社会**の実現に向けた取組が全世界的に加速。
- インフラ分野では、**目標9（強靭なインフラ構築等）**、**目標11（持続可能な都市の実現）**の取組として、防災・減災、国土強靭化の推進やコンパクト・プラス・ネットワークやグリーンインフラの推進等が関係。



【SDGsにおける17の国際目標】(出典) 外務省HP JAPAN SDGs Action Platform

- 情報通信ネットワークやIoT<sup>(※1)</sup>、AI<sup>(※2)</sup>、ロボット等の利活用が急速に進展。ICT技術<sup>(※3)</sup>の利活用は生産性の向上に大きく寄与。
- 社会資本整備の分野においても、データや新技術を生かした業務の高度化・効率化の取組は、今後更に重要に。

## ■ データ通信量・処理能力の急速な拡大

- **世界での情報通信量は**、1993年からの約30年間で**約1.3億倍**増加。
- AI等を支える**情報処理技術の能力**は、1997年から**約160倍**向上。



## ■ ICTによる生産性の上昇

- **ICT技術は業務の効率化を促すのみならず、新たな付加価値の創出**にも大きく寄与。

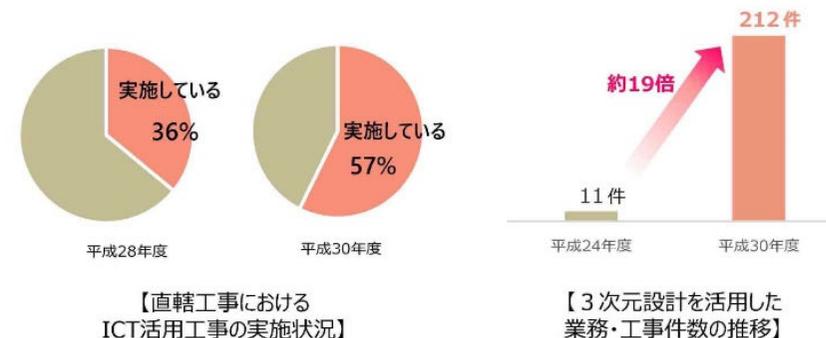


【日本の全産業におけるICTによる生産性向上】

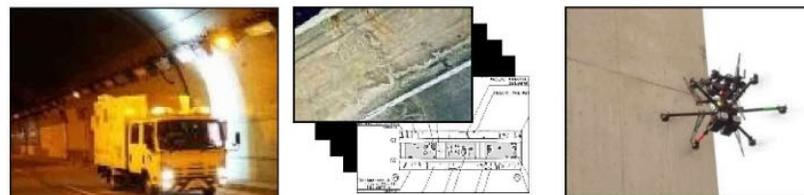
(出典) 総務省「ICTによるイノベーションと新たなエコノミー形成に関する調査研究」（平成30年）より作成

## ■ インフラ分野における技術実装

- 社会資本整備の現場において、ICT技術の活用が加速。



- メンテナンス分野において、ロボット技術等を活用した点検業務の効率化・高度化の取組が進捗。



【ロボットによるインフラの点検画像の取得】

(※1) 「IoT」 = Internet of Things (モノのインターネット)

(※2) 「AI」 = Artificial Intelligence (人工知能)

(※3) 「ICT」 = Information and Communication Technology (情報通信技術)

- 高度経済成長期に集中的に整備された社会資本の老朽化が、今後加速度的に増加。
- 社会経済活動や国民の安全・安心の確保の基盤となるインフラが、その機能に支障が生じる前に対策を行う「予防保全」へ本格的に転換することにより、トータルコストの縮減・平準化が不可欠。
- 一方、現状は、老朽化対策の遅れにより、既に施設に損傷が見られるなど、機能に支障が生じているインフラが多数存在。

## ■ 深刻化するインフラの老朽化

- 今後、建設後50年以上経過する社会資本の施設の割合が加速度的に増加。



【建設後50年以上経過する施設】

## ■ メンテナンスコストの増大

- 今後の維持管理・更新を「事後保全」により行った場合、30年後、その費用は約2.4倍増加。
- 仮に「予防保全」に転換しても、30年後の維持管理・更新費は約3割増加。
- 「予防保全」により行った場合、「事後保全」と比較して、その費用は約5割縮減。



【将来の維持管理・更新費用の推計】

## ■ 早期に対策が必要なインフラの現状

- 現状は、老朽化対策の遅れにより既に施設に損傷が見られるなど、機能に支障が生じているインフラが多数存在。

分野※2	点検対象施設数※3	うち 要緊急対策施設数	
道路	橋梁	717,391施設 (H31.3.31)	69,051施設 (H31.3.31)
	トンネル	10,718施設 (H31.3.31)	4,416施設 (H31.3.31)
	道路附属物等	39,873施設 (H31.3.31)	6,062施設 (H31.3.31)
河川	約14,300km 約8,500施設 (R2.3.31)	約3,600km 約1,800施設 (R2.3.31)	
砂防	砂防設備：約83,000基地すべり・急傾斜：約37,000区域 (R2.3.31)	砂防設備：約3,000基地すべり・急傾斜：約6,000区域 (R2.3.31)	
海岸(海岸堤防等)	約5,900km (H31.3.31)	約780km (H31.3.31)	
下水道(管路施設)	4,274km (H31.3.31)	11.6km (H31.3.31)	
港湾	58,839施設 (H31.3.31)	10,178施設 (H31.3.31)	
空港(土木施設※4)	80空港 (H31.3.31)	7空港 (H31.3.31)	
航路標識	2,400施設 (H31.3.31)	267施設 (H31.3.31)	
公園	86,662施設 (H31.3.31)	21,480施設 (H31.3.31)	
公営住宅	2,162,484戸(H31.3.31)	1,150,506戸(H31.3.31)	
官庁施設	9,283施設(H31.4.1)	743件※5 (R1.8.20)	

※1：各施設数は括弧内の時点の数字

※4：空港土木施設(幹線排水、共同溝、地下道、橋梁、護岸)

※2：要緊急対策施設がない分野は除く

※5：老朽を理由とした修繕計画のうち、緊急を要すると判定された

※3：点検対象施設数には点検未了のものも含む

計画の件数

# 第5次計画における社会資本整備の論点

- 自然災害への対応、老朽化への対応、経済成長の実現、地域経済の活性化の従来の視点に加えて、デジタル革命の本格化への対応や国民のライフスタイルの多様化といった時代の変化に対応した新たな視点を追加。

## 第4次計画

### 論点

自然災害の発生  
(切迫する巨大地震、  
激甚化する気象災害)



安全安心インフラによる  
災害等のリスクの低減

老朽化対策  
(加速するインフラ老朽化)



集約・再編を含めた  
既存施設の戦略的メンテナンス

地域経済の活性化  
(人口減少に伴う地方の疲弊)



生活インフラによる  
持続可能な地域社会の形成

経済成長の実現  
(激化する国際競争)



成長インフラによる  
民間投資の誘発、  
経済成長の下支え

## 第5次計画

### 論点

自然災害の質の変化  
(自然災害の激化や経済活動の  
維持の重要性の増加)



自然災害リスクの低減と  
防災意識社会の定着

インフラの老朽化  
(予防保全の取組の本格化や  
メンテナンス人材・財源の不足)



予防保全に基づくインフラ  
管理の最適化

地域社会の変化  
(地方圏を中心とした人口減少  
や地域資源の可能性)



豊かで暮らしやすい  
地域社会の実現

経済状況の変化  
(新興国の経済規模の拡大)



生産性向上による  
持続的な経済成長の実現

デジタル革命の本格化  
(データ通信量の増加)



情報技術の利活用・  
新技術の社会実装

ライフスタイルの多様化  
(生活の豊かさに関する  
価値観の変化)



インフラ空間の多面的・  
複合的な利活用

従来の  
視点

新たな  
視点

# ストック効果最大化のための社会資本整備の進め方 国土交通省

- 社会資本整備は、未来の国土・地域を形づくる基盤であり、その整備を通じて、**ストック効果を最大化していくことが重要**。
- **安全・安心の確保、持続可能な地域社会の形成、経済成長の実現**が社会資本整備の**基本的な役割**であり、これらへの投資を重点化することで、**ストック効果をさらに拡大**。
- **この役割を下支えするため**、これまでに整備した社会資本がその機能を適切に発揮できるよう**持続可能なインフラの管理を実施**。
- **従来の視点に加え**、社会経済やライフスタイルの多様化に対応し、**新技術・情報技術の活用**や**インフラの柔軟な利活用**といった**新たな視点を追加**することで、**新たなストック効果を発現**。

## < 社会資本整備の視点とインフラのストック効果最大化の関係 >



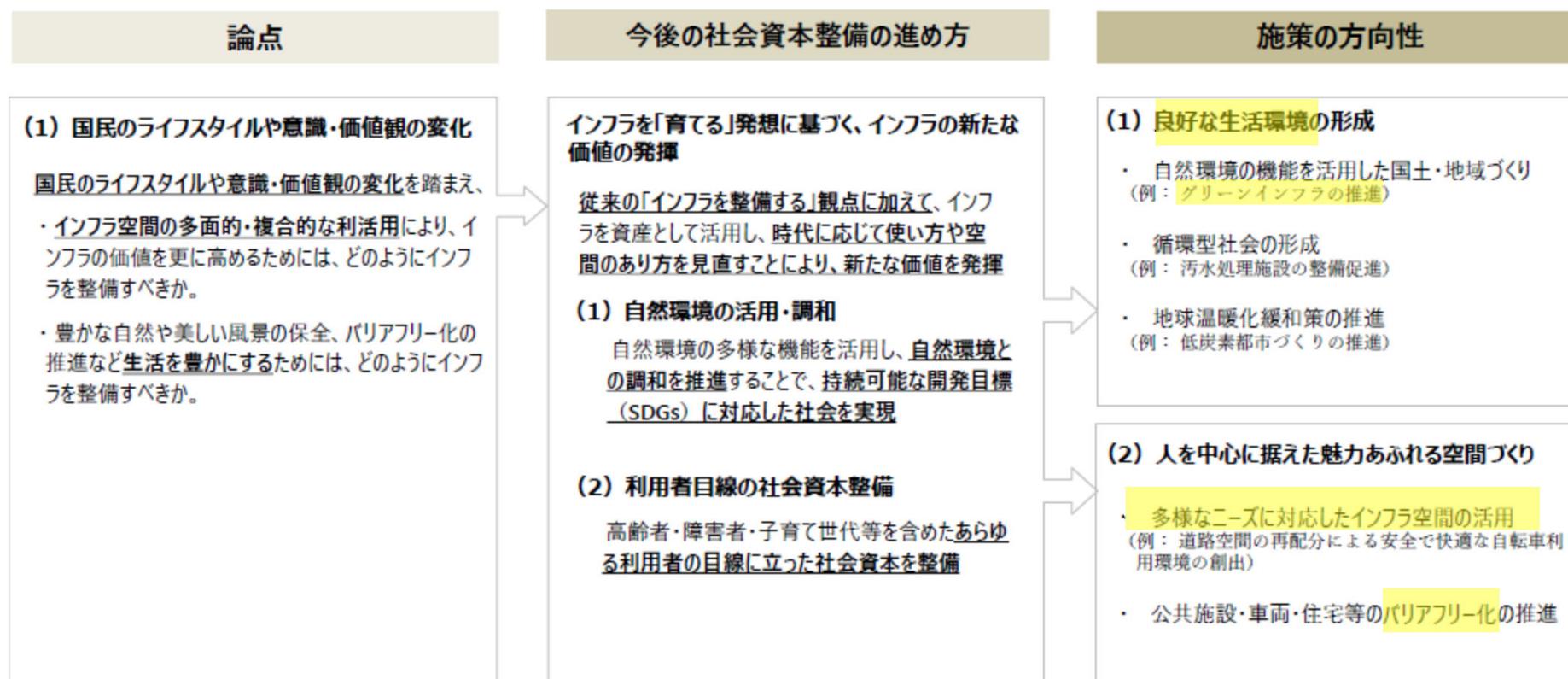
# 論点⑤ 情報技術の利活用・新技術の社会実装



## 重点目標：情報技術の利活用・新技術の社会実装によるインフラの価値の発現

### <目標達成により目指すべき姿>

- 情報技術の利活用や新技術の社会実装を推進し、**社会資本の整備の効率化や機能の高度化により、インフラの潜在的な価値を発現。**



## 重点目標：インフラ空間の多面的・複合的な利活用による生活の質の向上

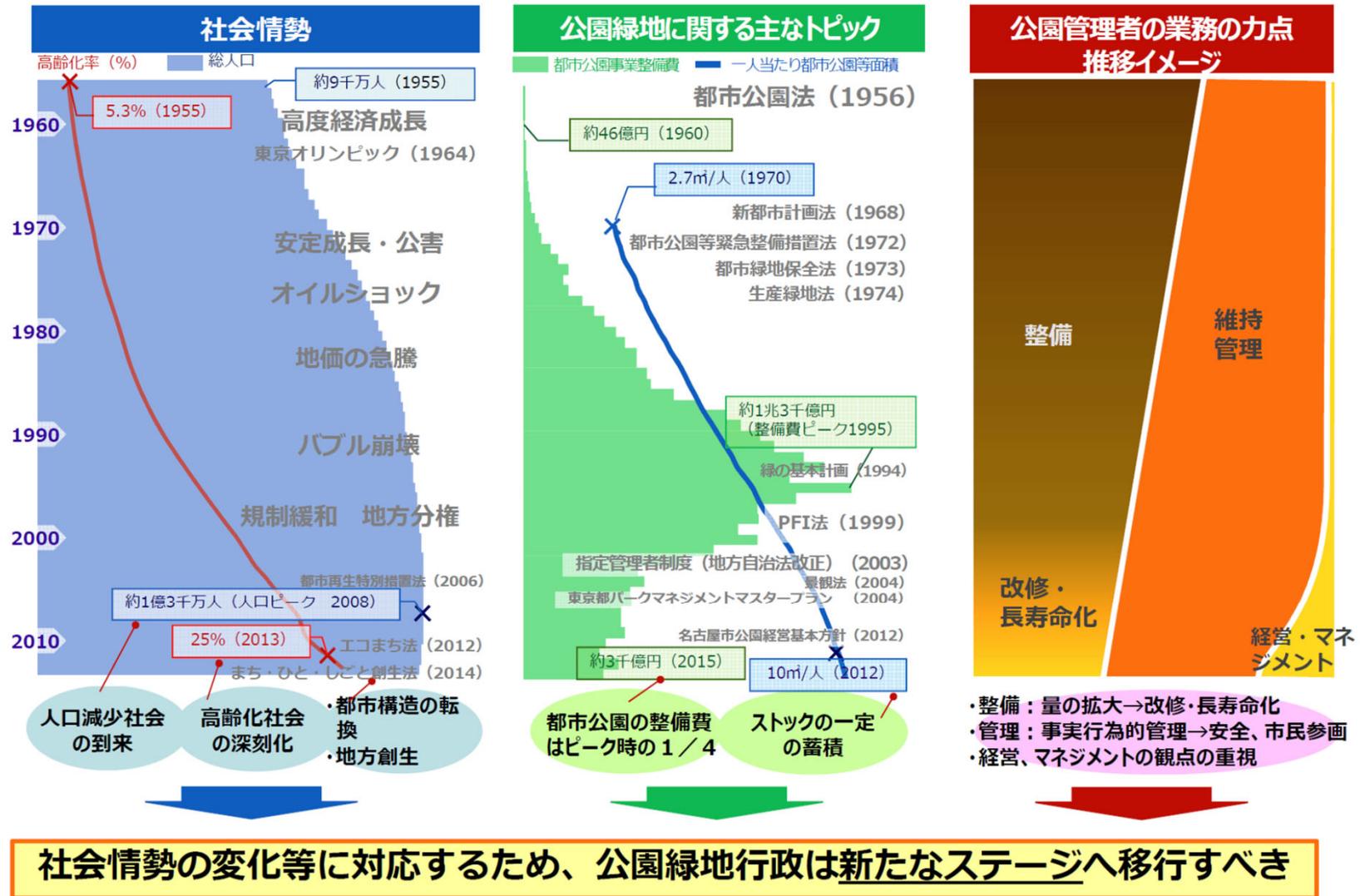
### <目標達成により目指すべき姿>

- インフラの多面的・複合的な利活用を通じて、自然環境の機能を最大限活用するとともに、あらゆる人に親しまれるインフラ空間を提供することで、**美しい景観と良好な環境にあふれた、快適で質の高い生活を実現。**

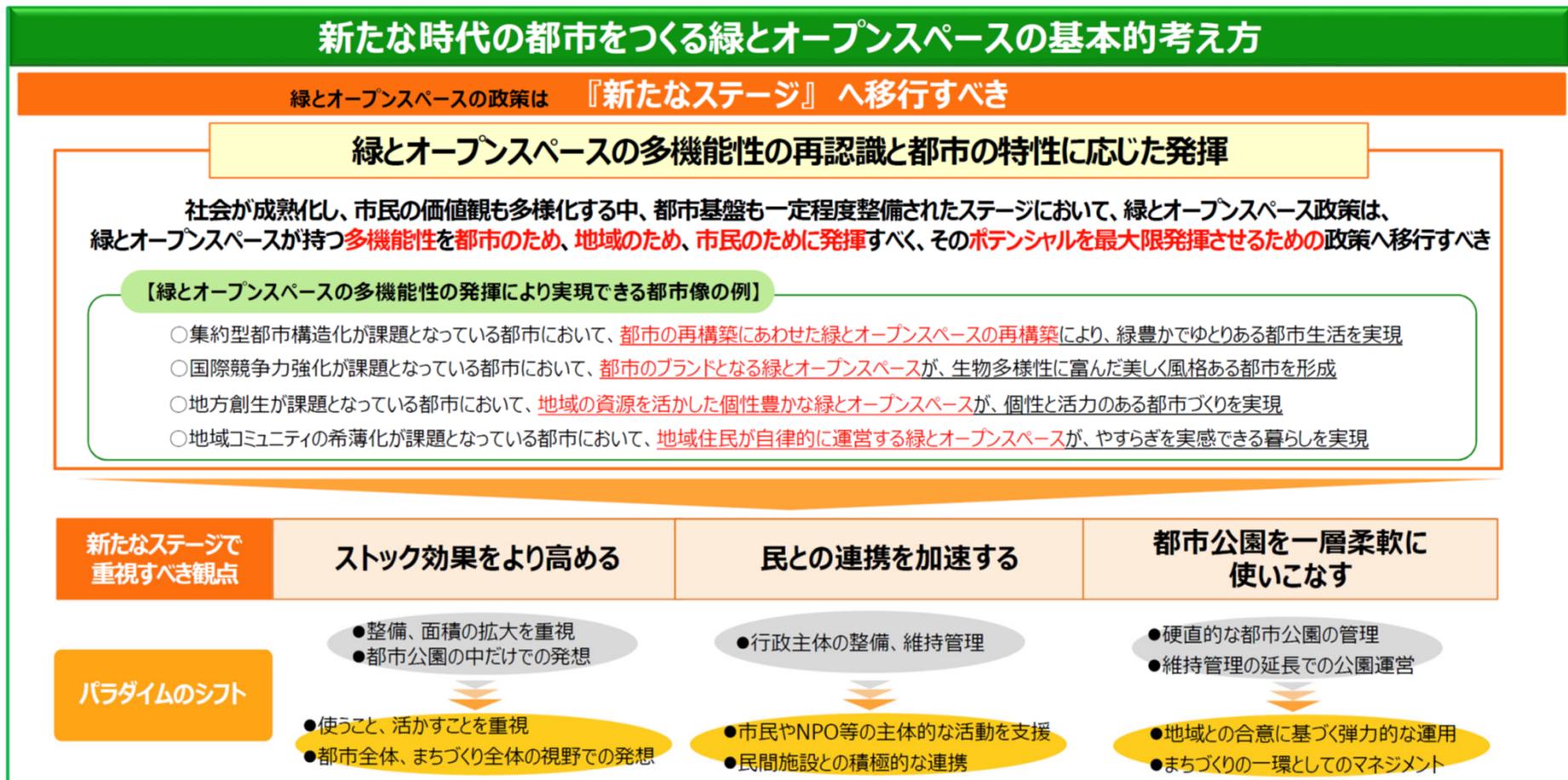
1. 本公園の基本計画・基本設計
2. 社会情勢の変化、国土交通省の方向性
- 3. 都市公園を取り巻く状況の変化**
4. 福岡県・福岡市の計画、公園周辺の開発状況
5. キーワード案

# 都市公園を取り巻く状況の変化

- 人口減少、公園ストックの一定の蓄積が進む中、公園緑地行政は新たなステージへ移行すべきとされている。



- 「新たな時代の都市マネジメントに対応した都市公園等のあり方検討会最終報告書（H28.5）」では、「**ストック効果をより高める**」「**民との連携を加速する**」「**都市公園を一層柔軟に使いこなす**」の3点を重視すべきとされている。



# 都市公園を取り巻く状況の変化

- 新たなステージに向けた都市公園の活性化を推進するため、平成29年度に都市公園法が改正された。
- これらの新設・拡充された制度を活用し、より公園のストック効果を高めることが必要。

## ＜都市公園法改正（H29.6）の概要＞

### 1. 公募設置管理制度（Park-PFI）の創設

- ・ 都市公園において飲食店、売店等の公園施設（公募対象公園施設）の設置又は管理を行う民間事業者を、公募により選定。
- ・ 事業者が設置する施設から得られる収益を公園整備に還元することを条件に、事業者には都市公園法の特例措置がインセンティブとして適用される。

### 2. PFI事業の設置管理許可期間の延伸

- ・ 公園施設を整備する場合の設置管理許可期間を、最長30年に延伸。

### 3. 保育所等の占用物件への追加（特区の全国措置化）

- ・ 国家戦略特区に限定されていた都市公園における保育所等の設置が、特区以外の都市でも可能に。

### 4. 公園の活性化に関する協議会の設置

- ・ 公園管理者が都市公園の利用者の利便の向上に必要な協議を行うための協議会を組織することが可能に（各構成員は協議が整った事項について尊重義務を有する）。

### 5. 都市公園の維持修繕基準の法令化

- ・ 都市公園の管理は、政令で定める都市公園の維持及び修繕に関する技術的基準に適合するように行うことを義務付け。

1. 本公園の基本計画・基本設計
2. 社会情勢の変化、国土交通省の方向性
3. 都市公園を取り巻く状況の変化
4. **福岡県・福岡市の計画、公園周辺の開発状況**
5. キーワード案

## 福岡県総合計画（H29.3）※計画期間：H29年度～R3年度

### 目指すべき福岡県の姿：「県民幸福度日本一」の福岡県

- (1) 日本海側の、かつ、アジアを向いた一大拠点「福岡県」
- (2) 県民の希望が叶い、将来に期待が持てる「福岡県」
- (3) 誰もが住み慣れたところで長く元気に暮らせる「福岡県」

### 福岡県の姿を実現するための施策(10の柱)

- 1 **活力にあふれ成長力に富んだ経済**と魅力ある雇用の創出
- 2 **安心して子育て**ができること
- 3 子ども・若者が夢を抱き、将来に向かってはばたけること
- 4 女性がいきいきと働き活躍できること
- 5 高齢者や障がいのある人が安心してはつらつと生活できること
- 6 **誰もが元気で健康に暮らせる**こと
- 7 心のぬくもりと絆を実感できる社会であること
- 8 **豊かな文化・スポーツ**を楽しみ、幅広い分野の国際交流を実感できること
- 9 災害や犯罪、事故がなく、安全で安心して暮らせること
- 10 **環境**と調和し、快適に暮らせること

### 15の広域地域振興圏との連携による 地方創生の推進

＜重点戦略＞※抜粋

#### 〇しごとを創る

- ・地域資源を活用した観光産業の振興
- ・地域の特色に応じた農林水産業の振興 等

#### 〇ひとを創る

- ・結婚・出産・子育て支援
- ・国際的な視野を持ち、地域で活躍する人材の育成等

#### 〇地域を創る

- ・女性や高齢者、障がいのある人等の活躍支援
- ・市町村・地域住民と一体になった地域振興 等

## 第二次福岡県観光振興指針（R2.3）※計画期間：R2年度～R5年度

### 目指す将来像：持続可能な観光先進県、福岡※抜粋

- 旅行消費額が継続的に拡大し、県内各地の観光産業の発展と地域活性化、雇用の創出につながっている。
- 「住んでよし、訪れてよし」の観光地づくりが実現しており、誰もが快適、安全、安心に旅行を楽しむことができる環境が整っている。
- 旅行者の増加による環境や文化、地域社会に対する悪影響が最小限に抑えられ、観光産業の成長と地域社会が調和している。

### 基本方針

- 1 戦略的なインバウンド誘客による旅行消費額の拡大
- 2 旅行者の県内各地への来訪促進
- 3 デジタルマーケティングの推進
- 4 持続可能な観光の推進

### 施策の柱と方向性

- 1 受入環境の充実
- 2 観光資源の魅力向上
- 3 効果的な情報発信
- 4 観光振興の体制強化

### 数値目標(2023年)

目標	目標値	(H30実績)
外国人入国者数	360万人	328万人
延べ宿泊者数	2,000万人泊	1,673万人泊
延べ宿泊者(外国人)	500万人泊	337万人泊
旅行消費額(外国人)	61,500円	57,600円
旅行消費額	9,700億円	9,253億円
観光関連産業の売上金額	8,200億円	7,862億円

## (参考) 福岡県における取組み

### ふくおか健康づくり県民運動

○県民の健康寿命の更なる延伸を目指し、保健・医療関係団体、経済団体、企業、大学、マスコミ、地域団体、行政など、様々な分野の関係団体が一体となって取り組む県民の健康づくり運動。

○「健(検)診受診率の向上」「食生活の改善」「運動習慣の定着」の3つの取組を柱に活動を行う。

○日々の運動や健康記録をつけることでポイントが貯まるアプリ等もある。



出典：ふくおか健康ポイントアプリHP

### 食育・地産地消県民運動

○県内の幅広い関係者が連携・協力し、「いただきます！福岡の美味しい幸せ」の県民スローガンのもと、食育・地産地消の推進を目指す取組。

○11月を「食育・地産地消月間」とし、食育イベントの開催、飲食店等での地産地消メニューの提供を行うなど、県民参加型の運動を展開している。



写真出典：ふくおか農林漁業応援団HP

### 70歳現役社会づくり

○年齢にかかわらず、それぞれの意思と能力に応じて、70歳になっても働いたり、NPO・ボランティア活動等を通じて社会で活躍し続ける**選択肢の多い社会の実現**を目指す取組み。

○高齢者の就労支援をはじめ、NPO・ボランティア団体の活動や地域活動、ソーシャルビジネス、コミュニティビジネスへの参加等、高齢者が活躍できる多様な施策が行われている。



写真出典：70歳現役社会づくりパンフレット

### 福岡県サイクルツーリズム推進協議会

○県内にサイクリングルートを設定し、自転車で周遊してもらうことで観光客を呼び込み、各地域を活性化することを目的に、平成30年5月に県が市町村、観光協会等とともに設立。

○サイクリングの広域ルートを設定し、受け入れ環境の整備や情報発信の強化などに取り組んでいる。



写真出典：CYCLE&TRAIL FUKUOKA HP

## 福岡市総合計画

福岡市都市空間構想図

### 福岡市基本構想(H24.12)

**都市像:**住みたい、行きたい、働きたい。

アジアの交流拠点都市・福岡

- 1 自律した市民が支え合い**心豊か**に生きる都市
- 2 **自然と共生**する**持続可能で生活の質の高い都市**
- 3 **海に育まれた歴史と文化**の魅力が人をひきつける都市
- 4 **活力と存在感**に満ちた**アジアの拠点都市**



### 第9次福岡市基本計画(H24.12)

※計画期間:  
H25~H35

#### 都市経営の基本戦略:

- 1.生活の質の向上と都市の成長の好循環を創り出す
- 2.福岡都市圏全体として発展し、広域的な役割を担う

#### 基本姿勢(抜粋):

「人と環境と都市活力の調和がとれたアジアのリーダー都市」をめざすという大きな志をもって、新しい時代の都市づくりに果敢に調整していきます。

### 第2次実施計画(H29.6)

※計画期間:  
H29~H32

#### 重点分野:

- ①見守り、支え合う、共創の地域づくり
- ②次代を担う子ども、グローバル人材の育成
- ③福岡の成長を牽引する観光・MICE(※1)、都心部機能強化の推進
- ④人と企業を呼び込むスタートアップ都市づくり

(※1) 「MICE」：企業等の会議 (Meeting)、企業等の行う報奨・研修旅行 (Incentive Travel)、国際機関・団体、学会等が行う国際会議 (Convention)、展示会・見本市、イベント (Exhibition/Event) の頭文字を使った造語で、これらのビジネスイベントの総称

## 福岡 観光・集客戦略2013 ※計画期間：H25年度～概ね10年間

### 観光都市福岡の将来像

「世界No.1のおもてなし都市・福岡」の実現

- ①来福客が安心して楽しく過ごしています
- ②市民・地域が誇りと喜びを感じています
- ③企業が観光分野に挑戦し、成長し続けています
- ④福岡市が九州の活力と成長を牽引しています

数値目標（R2年）

	R2年目標
入込観光客数 (クルーズ客含む)	2,000万人
観光客直接消費額	4,900億円

### 4つの力点

#### 力点1 誘客

- ・ターゲットを絞ったプロモーション
- ・博多港をクルーズ拠点に
- ・国際観光都市づくりを牽引するブランディング

#### 力点2 MICE振興

- ・MICE誘致体制の強化、MICE支援内容充実
- ・関係者や市民が一体となった歓迎やおもてなし
- ・施設・交通面の機能強化

#### 力点3 魅力づくり

- ・歴史・文化を活かした観光地づくり
- ・海（博多湾）を活かした観光地づくり
- ・食の魅力を国内外に発信

#### 力点4 観光の産業化

- ・「福岡で、もう一泊。もう一品、もうひと楽しみ」を進める
- ・「日本一外国人にフレンドリーなまち」創り

## (参考) 福岡市における取組み

### 一人一花運動

- 「一人一花」を合言葉に、ありとあらゆる場所での花づくりを通じて、人のつながりや心を豊かにし、花によるまちづくりを目指す取組み。
- 花づくりや花壇づくりの作業を通じて参加できる「ボランティア花壇」制度、花壇の維持や管理費を協賛することで花壇のオーナーになれる「スポンサー花壇」制度など、個人や様々な主体が参加できる仕組みが用意されている。



写真出典：一人一花運動HP

### 福岡100

- 人生100年時代に向けて、誰もが住み慣れた地域で、心身ともに健康で自分らしく暮らせる「ひと」も「まち」もどちらも**幸せになれる社会**の実現を目指すプロジェクト。
- 健康ツーリズム、健康パークステーション、健康ポイントでウォーキング促進等の100の取組を2025年までに実施することを目指している。



写真出典：福岡100HP

### FUKUOKA SMART EAST

- 様々な社会課題を解決し、持続可能で快適なまちづくりを目指すプロジェクト。東区箱崎の九州大学箱崎キャンパス跡地を活用したまちづくり等を行っている。



出典：FUKUOKA SMART EAST HP

- AIやIoTなどの先端技術を活用した社会課題の解決に繋がる実証実験プロジェクト等を全国から募集し、「自動配送ロボットの走行デモ」「スマートフォンと自動翻訳ツールを使った災害避難訓練」等、先進的な実証実験を行っている。

### 「ふくおかさん家のうまかもん」 事業者認定事業

- 福岡市内産の農林水産物及びその加工食品等を優先的に提供または販売する事業者を認定。
- 専用ホームページでの紹介やPRグッズの交付などの支援を通じて、地産地消を推進。



写真出典：ふくおかさん家のうまかもんHP

# 公園周辺施設の整備計画等

- 公園に近接するエリアでは、A地区の隣接地に福岡空港からヘリポートが移設された（R2.3）他、福岡市のエコパークゾーンにおいて生き物の生息環境に配慮した水辺空間の整備が進められている。
- アイランドシティにおいては、年間360万人の来場者を見込んだ複合施設「アイランドアイ」が今年3月に一部開業。アイランドシティ内では、自動車専用道路の延伸やランプ設置等、アクセス整備も進められている。



## (参考) アイランドシティ内各事業の概要



出典：福岡アイランドシティHP「アイランドシティの概要」

**オンデマンドバス「のるーと」**  
(H31.4運行開始)  
アイランドシティ内で、アプリでバスを呼べるオンデマンド交通サービスを呼べるオンデマンド交通サービス



出典：のるーとHP

**アイランドアイ**  
(R2.3一部開業)  
ショッピングやグルメ、劇場、MICE、ホテルを備えた複合施設



出典：アイランドアイHP



出典：読売新聞オンライン (R2.3.27)



出典：都市高速HP



**自動車専用道路**  
2020年度 完成予定  
橋梁上部・下部工事を施工中

(イメージ)

出典：福岡アイランドシティHP「アイランドシティの概要」

1. 本公園の基本計画・基本設計
2. 社会情勢の変化、国土交通省の方向性
3. 都市公園を取り巻く状況の変化
4. 福岡県・福岡市の計画、公園周辺の開発状況
5. **キーワード案**

## ①本公園のベーシックな思想として継続すべきキーワード

(海ノ中道海浜公園の計画・設計等から)

- レクリエーション一大拠点
- 広域レクリエーション需要に対応する魅力ある公園
- スケールメリット
- 広大で豊かな自然環境を活かした「体験・経験」の拠点
- 通年利用
- 循環的かつ長期的に需要を喚起しうる内容と質を確保
- 環境
- 環境保全
- 「白砂青松」の松林育成保全
- 北部九州圏域の広域緑地系統
- 緑地帯を拡大
- 循環型社会
- 自然公園的な性格
- 限界利用者に対して利用抵抗を小さく
- ユニバーサルデザイン
- (地域との) 共存関係
- 多様な施設・主体と連携
- 環境教育
- 環境学習
- 市民参加の場
- 地域住民等との協働
- 新たなライフスタイル実践の場
- インバウンド
- 安心・安全の確保

## ②近年のトレンドとして反映させることが考えられるキーワード

(近年のトレンド、自治体の計画等から)

- 豊かな文化・スポーツ
- 健康づくり
- 自然との調和
- 良好な生活環境
- 環境
- 自然と共生
- グリーンインフラ
- 持続可能・多様・包摂的な社会
- 持続可能な地域社会の形成
- 持続可能で生活の質の高い都市
- バリアフリー化
- 食育・地産地消
- 安心して子育て
- 訪日観光需要の拡大
- 経済成長の実現
- 活力にあふれ成長力に富んだ経済
- 活力と存在感
- 「住んでよし、訪れてよし」の観光地づくり
- 海に育まれた歴史と文化
- インフラの老朽化
- 安心・安全の確保
- メンテナンスコストの増大
- 持続可能なインフラの管理
- 心の豊かさを求める価値観
- 美しい景観
- 選択肢の多い社会の実現
- 心豊か
- 快適で質の高い生活
- 誰もが元気で健康に暮らせる
- 一人一花
- 「ひと」も「まち」もどちらも幸せになれる社会
- ICT
- 新技術・情報技術の活用
- 民との連携を加速
- インフラの柔軟な利活用
- (都市公園を)柔軟に使いこなす
- 多様なニーズに対応したインフラ空間の活用
- ストック効果を高める・最大化
- サイクルツーリズム

海の中道海浜公園の計画・設計等			近年のトレンド、自治体の計画等				
海の中道海浜公園 基本設計 (S51.3)	海の中道海浜公園 環境共生計画 (H11.3)	整備・管理運営 プログラム (H29.3) 整備・管理運営の重点事項	社会情勢の変化	国土交通省の 方向性	都市公園を取り巻く 状況の変化	福岡県の計画	福岡市の計画
レクリエーション一大拠点 スケールメリット 通年利用 循環的かつ長期的に需要を喚起しうる内容と質を確保		広域レクリエーション需要に対応する魅力ある公園  広大で豊かな自然環境を活かした「体験・経験」の拠点				豊かな文化・スポーツ  健康づくり	
環境 北部九州圏域の広域緑地系統 緑地帯を拡大 自然公園的な性格	環境保全  循環型社会	「白砂青松」の松林育成保全	自然との調和  持続可能・多様・包摂的な社会	良好な生活環境 グリーンインフラ  持続可能な地域社会の形成		環境  持続可能で生活の質の高い都市	自然と共生
限界利用者に対して利用抵抗を小さく  (地域との) 共存関係		ユニバーサルデザイン  多様な施設・主体と連携	バリアフリー化	バリアフリー化		食育・地産地消  安心して子育て	
	環境教育 市民参加の場 新たなライフスタイル実践の場	環境教育、環境学習 地域住民等との協働					
		インバウンド	訪日観光需要の拡大	経済成長の実現		活力にあふれ成長力に富んだ経済  「住んでよし、訪れてよし」の観光地づくり	活力と存在感 海に育まれた歴史と文化
		安心・安全の確保	インフラの老朽化 メンテナンスコストの増大	安心・安全の確保 持続可能なインフラの管理			
			心の豊かさを求める価値観	美しい景観 快適で質の高い生活		選択肢の多い社会の実現 誰もが元気で健康に暮らせる	心豊か 一人一花 「ひと」も「まち」もどちらも幸せになれる社会
			ICT	新技術・情報技術の活用 インフラの柔軟な利活用 多様なニーズに対応したインフラ空間の活用 ストック効果を最大化	民との連携を加速  (都市公園を)柔軟に使いこなす  ストック効果を高める	サイクルツーリズム	

マリンワールド海の中道



## 1、開館から大規模リニューアルオープンまで

マリンワールドは、2期に分けて国が設置。2017年P F I 事業による大規模リニューアルを実施

### I 期 1989年(平成元年)オープン



### II 期 1995年(平成7年)オープン



※第9回福岡市都市景観賞を受賞

国営公園初のP F I 事業

階 数：地上4階地下1階  
延面積：20,958㎡

### III 期 大規模リニューアル 2017年(平成29年)オープン

※第28回BELCA賞ベストリフォーム部門を受賞

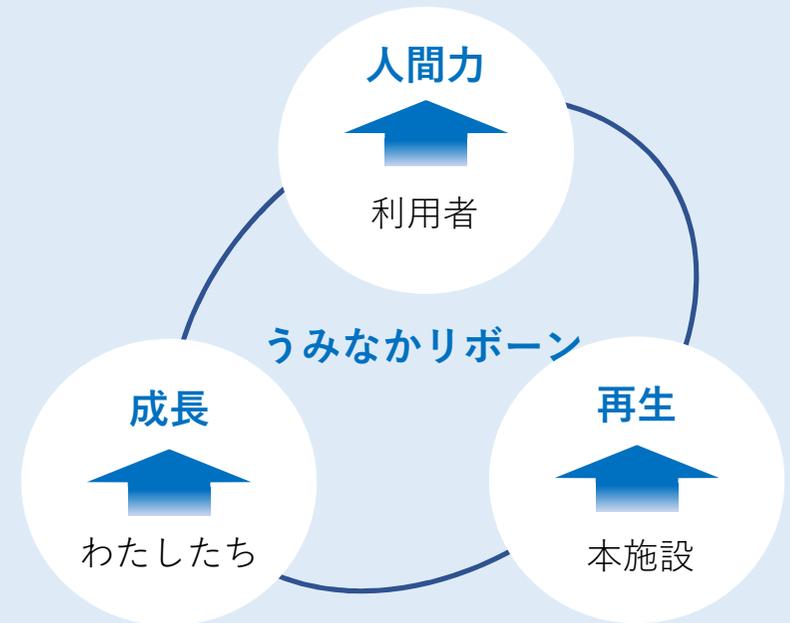
## 2、整備・管理運営のコンセプト（事業実施方針）

● 海の中道海浜公園をより良くし、水族館という文化施設の運営を通して社会に貢献するという想いを共有し、そして開業時から本施設に携わり思い入れのある地元福岡の企業を中心に組成したコンソーシアムで事業を推進する。

● 本事業に取り組むにあたっては、単なる老朽化の改修工事、管理運営事業の継続ではなく、本施設を「リボーン（再生）」させていく。

● この「リボーン」には、①本施設を修繕・更新により再生させることは勿論、②利用者が癒しや潤いを感じ、豊かに生きるための人間力を取り戻すこと、さらに③構成員自身が本事業を通して、地域社会と利用者に対し何ができるのかを見つめ直し成長していくという「3つの想い」を込めている。

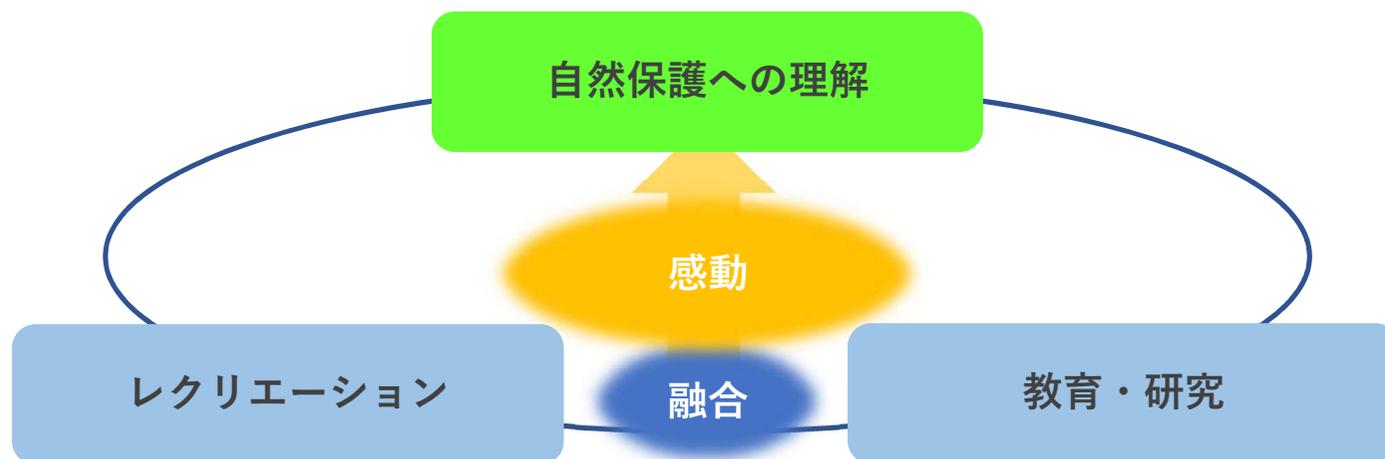
● 「うみなかりボーン」を基本コンセプトとして、教育・研究機能とレクリエーション機能が融合した文化事業を実現することを実施方針とし、国営公園において水族館事業の持つ「自然保護への理解を深める」社会的役割を担う存在を目指す。



### 3、運営方針

公益社団法人 日本動物園水族館協会(JAZA)は、動物園および水族館の主な役割として、

①【種の保存】②【教育・環境教育】③【調査・研究】④【レクリエーション】の4つを掲げています。



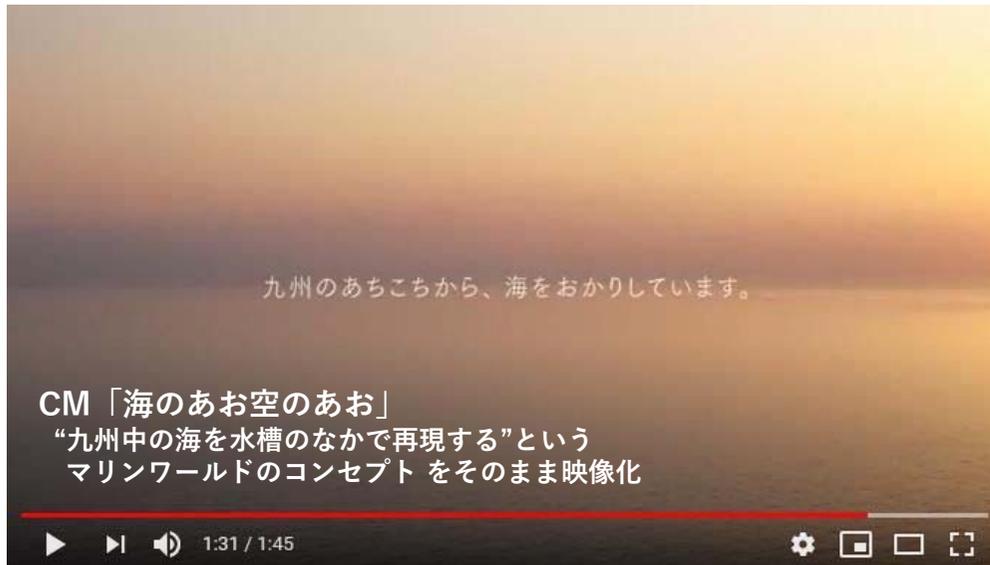
水族に関連するレクリエーションと教育・研究を融合させた場を提供することで、お客さまが楽しみながら生物や環境を学び、自然保護への理解を深めることができ、いつまでも美しい地球を守っていける持続可能な社会の実現に貢献する。

コンセプトは、『いつも新しい私になれる水族館』



## 4、具体的取組み ～九州の多様な海、川、文化をテーマとする進化した展示の実施～

- 九州の自然を体感できる水族館に再生し、**幅広い年齢層**が楽しめる展示を実現する。展示テーマは「九州の海」
- 九州の多様な美しい水環境を再現し、**非日常感と感動**を提供する。
- 利用者との**コミュニケーション**を重視した解説を行い、楽しみながら学ぶ生涯学習施設としての機能を向上させる。



※第58回福岡広告協会賞において、全部門の最高賞である“大賞”を受賞



## 5、具体的取組み ～新しい展示づくり～



水中にいる雰囲気  
～癒し,潤い～



## 6、具体的取組み ～館内イベントや解説を通じたコミュニケーション～



RNでは各種イベント等についてもバージョンアップ、リアルタイムで飼育員との対話も可能になりました。

## 7、公園内施設との連携事例



イルカウェディング  
(ルイガンズ)



学習プログラム  
(青少年海の家)



大水槽前でのお泊り体験  
(青少年海の家)



大水槽前でのパーティー  
(ルイガンズ)

ルイガンズとの提携により、ショープールサイドを舞台にイルカたちから祝福を受ける「ドルフィンセレモニー」や、営業時間外の夜の水族館をゆっくりと満喫できる貸切プランでは、同ホテルのシェフによるケータリングサービスを提供しています。

青少年海の家との連携では、公園施設全体を利用した社会教育を体験できる宿泊型のプログラム「海の冒険団」を毎年開催しています。

## 8、公園内での生息域外保全活動



保全環境の整備(田植え)



希少淡水魚(ニッポンバラタナゴ)



貝(ヌマガイ)の中に産卵



外来種の駆除

九州地域に生息する絶滅危惧種であるニッポンバラタナゴの生息域外保全活動を公園内(いのちの池)で行っています。保全環境整備のために外来種の駆除や田んぼの造成など、ボランティアの方々にもご協力いただきながら、一步一步前に進んでいます。水族館が種の保存、遺伝子の多様性の保存、環境学習の面で微力ながら貢献できることを、このような保全活動を通じて社会に発信していきたいと思っています。

## 9、地域社会と連携した教育活動



福岡県教育委員会と連携し、山間部の学校や特別支援学校などの普段海の生き物と触れ合う機会の少ない学校での移動水族館教室や、西日本鉄道が主催する小学校中学年を対象とした「キッズしごと体験スクール」などの教育活動を行っています。地域社会と連携しながら、生物への興味や仕事の大切さを楽しく学ぶプログラムを通じて、自然や環境への関心のきっかけとなるような様々な活動に取り組んでいます。

## 10、研究活動における他園館との連携（シロワニ繁殖協議会）

小笠原諸島での捕獲



発信機の取付け



発信機取付け後



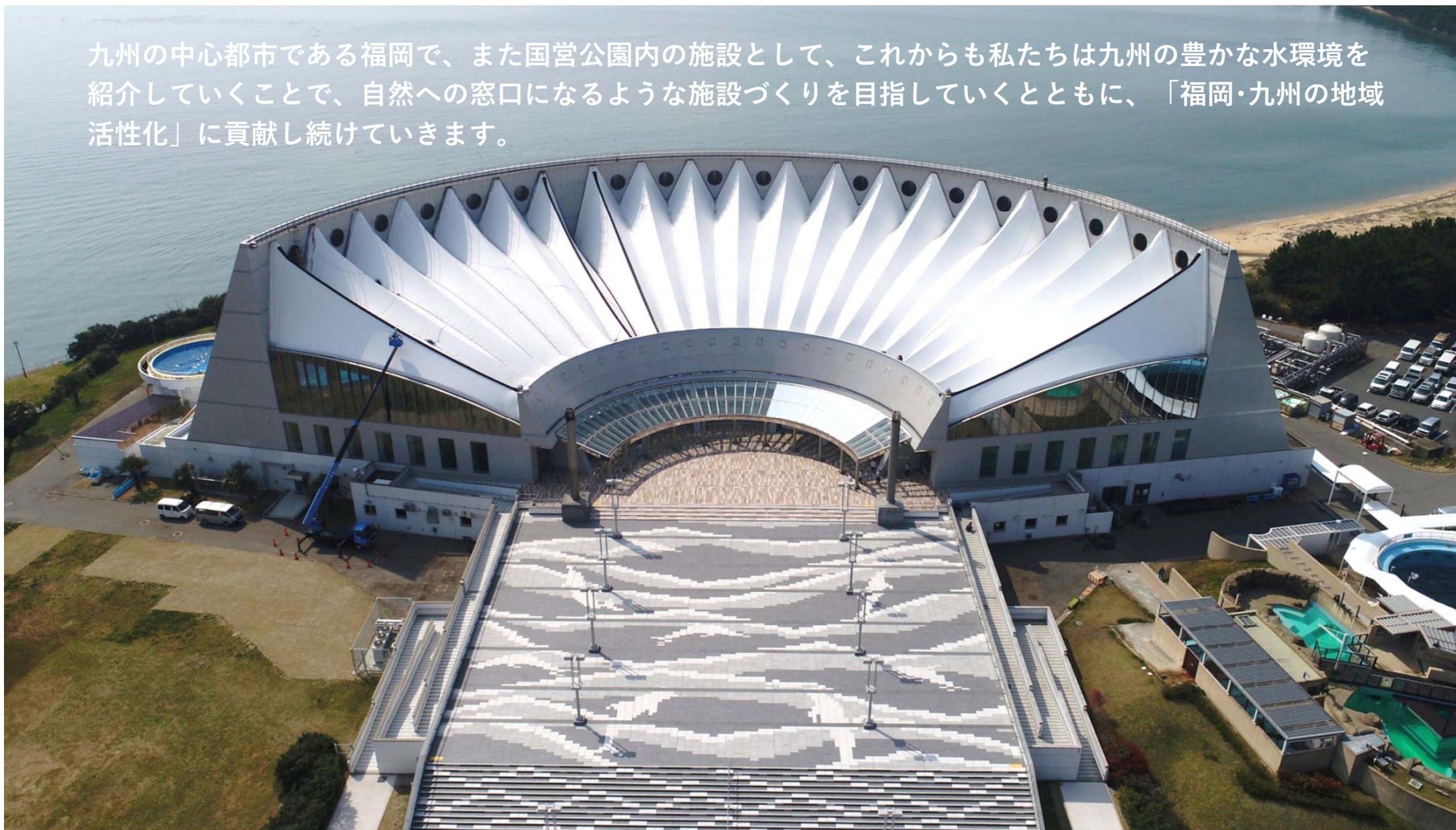
シロワニの生態調査のため、当館が中心となり、アメリカ合衆国ジョージア水族館および国内の4園館（海遊館・横浜八景島シーパラダイス・アクアワールド茨城県大洗水族館・登別マリンパークニクス）と協働で、小笠原父島でシロワニ5個体を一時捕獲し、衛星発信機・超音波発信機を装着、今後の研究に活用する行動データの取得にトライしました。この研究活動は国内初の試みとなります。

## 11、繁殖活動と長期飼育への取組み



2015年よりJAZAに加盟する水族館は、追い込み漁で捕獲したイルカを入手することができなくなり、自然界からのイルカの確保が事実上不可能になりました。以前より当館ではイルカ類の繁殖にも取り組んでおり、18年には仔イルカ2頭が産まれましたが、今月そのうちの1頭が死亡しました。（イルカの繁殖は非常に難しく、一年後の生存率はわずか2割程度とされています）今後も私たちは、他園館との情報交換や技術連携等を行いながら、繁殖技術の向上や長期飼育への取組みを探究し続けていきます。

九州の中心都市である福岡で、また国営公園内の施設として、これからも私たちは九州の豊かな水環境を紹介していくことで、自然への窓口になるような施設づくりを目指していくとともに、「福岡・九州の地域活性化」に貢献し続けていきます。





ありがとうございました。

EST.  
2007

CATEGORY  
RESORT HOTEL

AREA  
FUKUOKA, JPN.

Plan·Do·See Inc.

資料7-2

# THE LUIGANS Spa & Resort



## 【施設の概要】

### (事業内容)

- ①宿泊施設(ホテル)等管理運営業務:宿泊・ブライダル・宴会・SPA
- ②マリーナ管理運営業務
- ③テニスコート管理運営業務
- ④駐車場管理運営業務

代表企業:株式会社海の中道リゾート

構成企業:株式会社Plan・Do・See

構成企業:株式会社ササキコーポレーション

協力企業:株式会社創建サービス(設備管理)

合同会社sproutforest(テニス運営)

## (運営会社)

株式会社 Plan・Do・See

事業内容: ホテル・レストラン・ウェディング・バンケット等の運営・企画・コンサルティング

所在地: 東京都千代田区丸の内2丁目1番1号

設立: 1993年4月1日設立

代表取締役: 野田 豊

従業員数: 社員数=693名、総従業員数=1,085名

## (ホテル概要)

ホテル: THE LUIGANS Spa&Resort

運営期間: 2018年4月1日~2038年3月31日迄

・ホテル棟

構造・規模: 鉄筋コンクリート造 8 階建

客室: 98室

レストラン: 3店舗(オールディダイニング・和食・鉄板)

その他: ブライダルサロン・SPA・大浴場

・バンケット棟

鉄筋コンクリート造 2 階建

宴会場・多目的ホール

・シオヤ岬 レストハウス

鉄筋コンクリート造 2 階建

宴会場・多目的ホール

## 【整備・管理運営のコンセプト】

北部九州地方の広域レクリエーション需要に貢献する収益施設として、心地良い空間や、人のぬくもりを感じる接客により、癒やし、感動、活力を提供します。

また、当団体は地域の一員として、本事業が地域価値の向上に寄与し、当施設が地域の方に愛され活用される施設となるよう、地域や環境に配慮した管理運営を行います。

## 【具体的取組】

・お客様サービスの向上

新人1人に対し1人の先輩を充て、教育担当とする「親子制度」を導入

・安全快適性の向上

想定されるリスク及び対応策のマニュアル作成及び訓練実施

・公園の利用促進の貢献

ホテル宿泊者全員を対象に公園の入園券プレゼント

## 【園内施設との連携事例】

水族館で結婚式(水族館＋ホテル)

公園イベントの飲食ブース出店(公園＋ホテル)

シーカヤック＋宿泊(マリーナ＋ホテル)

テニス＆ホテルランチ(テニス＋ホテル)



NAME :

## THE LUIGANS Spa & Resort

ザ・ルイガンズ

Fukuoka, JPN.

JP :

国営公園内に位置する空と海の絶景広がるリゾートホテル、ザ・ルイガンズは、都心部から車でわずか20分。福岡市内にも関わらず、ホテル周辺には自然を満喫できるスポットが多数あります。都心の喧騒から離れて、ゆっくりとした時間の中で、極上のリゾートステイをお楽しみください。

EN :

*THE LUIGANS is a spa and resort facility located in the middle of a national park with the scenery of the beautiful sea and the sky. It is only 20 minutes away from the city center. Even though it is located within Fukuoka city, there are many spots to fully enjoy the natural landscape surrounding the hotel. Take some time out to relax and get away from the hustle and bustle of the city and enjoy this finest resort*

ADDRESS :

福岡県福岡市東区西戸崎18-25  
18-25 Saitozaki, Higashi-ku, Fukuoka-shi,  
Fukuoka, Japan

Tel.(81.92)603.2525

[www.luigans.com](http://www.luigans.com)

PHOTO - A  
POOL

PHOTO - B  
SUITE

PHOTO - C  
BED ROOM



(A)



(B)



(C)

**Plan·Do·See Inc.**

# MESSAGE & OUR HISTORY

私たちの歩みとメッセージ

株式会社Plan・Do・See  
代表取締役 野田 豊加

野田 豊加



私は4歳から六本木で育ちました。小学校・中学校の通学路には、日々出来ては消えていくレストラン、バー、ナイトクラブが沢山ありました。父親は、日本に初めて観光学部(ホテルマネジメント)を創った大学教授。家の中には、世界中のホテルやレストランの話が満ち溢れていました。生まれて初めて紳士の扱いをしてくれたのは、小学校の裏のホテルオークラのベルマン。背筋がピンと伸びた気がしました。キャピトル東急やパレスホテルに朝食を食べに行くことが何よりの楽しみだったことを覚えています。

20歳を過ぎた頃、ガールフレンドの誕生日に、どこかに泊まりに行こうかと聞いたとき彼女が挙げた3つのホテルはいずれも外資系でした。旅館を生み出した国なのに…。しかし実際に、ホテルを築もうと思ったら、私も外資系を選ぶことのほうが多いかもしれないと。憧れ続けていたホテルが、マーケットの意見に耳を貸さなくなってきたのもこの頃かもしれません。そう感じた次の年の1993年、桜が満開の4月1日、私たちはPlan・Do・Seeを設立しました。

2010年、あの震災から15年が経った春、オープンを間近に控えたホテルを待ち望む多くの手紙が舞い込みました。「50年前初めて連れて来てもらったホテルがここでした」「祖母も母もこの場所で結婚式を挙げました」「特別な日に家族で食事に行く場所でした」。日本ホテル史にその名を刻む名門ホテルの復活です。「オリエンタルホテル」。遡ること数年前、このホテルのコンペの最終選考に残ったホテルブランドは、我々以外全てが外資系。この街のシンボルとなるホテルは、やはり日本のホテルでなければいけない。日本から世界へ羽ばたくホテルをもう一度作ろう。そんな一心でプレゼンテーションに臨んだ日々でした。

今日も、東京や京都で、ランドマークとなるような素晴らしい場所でホテルプロジェクトが進んでいます。近い将来、皆さんは日本の色々なところでとても素敵なホテルと出会うことでしょう。そしていずれそれは世界中に広がっていきます。その陰にきつと私たちPlan・Do・Seeがいます。

# STORE LIST

Plan·Do·See Inc.

店舗一覧



WITH THE STYLE  
FUKUOKA

福岡県福岡市博多区  
博多駅南 1-9-18



ORIENTAL HOTEL  
兵庫県神戸市  
中央区京町 25



the  
LUIGANS  
SPA & RESORT

福岡県福岡市東区  
西戸崎 18-25



The Nanzan House  
NAGOYA

愛知県名古屋市  
昭和区汐見町 6



The Hibarino Capsule

愛知県名古屋市中区  
丸の内 2-12-30



可

愛知県名古屋市中区  
丸の内 2-12-19



THE  
SODOH

京都市東山区八坂通下  
河原東入八坂上町 366



FORTUNE GARDEN  
KYOTO JAPAN

京都市中京区河原町通  
二条下ル一之船入町 368-2



THE  
GARDEN  
ORIENTAL OSAKA  
ESTABLISHED  
1959

大阪市都島区  
綱島町 10-35



箱水楼

奈良県奈良市  
高畑町 1130



The Furutsu-ya  
ESTABLISHED  
SINCE 1971

三重県桑名市船場町 30



The Classic House  
at Akasaka Prince

東京都千代田区紀尾井町 1-2  
東京ガーデンテラス紀尾井町内



6th ORIENTAL HOTEL

東京都千代田区有楽町 1-12-1  
新有楽町ビル 1F



THE BARN  
BY ODIN

北海道虻田郡  
倶知安町山田 170-323

海外



428 Greenwich Street,  
New York, NY 10013



THE SAYAN HOUSE  
no70 UBUD BALI

Jl. Raya Sayan No.70 Ubud  
Bali Indonesia



Deco Blue at Marriott Stanton  
South Beach

161 Ocean Drive Miami Beach,  
FL 33139



# BEHAVIORAL GUIDELINES

私たちの行動指針

もし自分がお客様だったら・・・

マニュアルは作らない

もし自分がお客様だったら  
どうなっていたら 一番嬉しいだろうか？

常にこの問いと向き合い この答えを出し続けるのが  
私たちのやり方

もし自分がお客様だったら こんな料理が食べたい  
もし自分が客様だったら こんな空間を訪れたい  
もし自分がお客様だったら こんなサービスをされたい

それが  
私たちの行動指針



# HISTORY & STORY

ヒストリー&ストーリー

## History と Storyから生まれた空間

その街の「History」に寄り添い 「Story」を紡ぐ

その場所に昔からあったかのように その街に溶け込み  
その街の想いに寄り添う

そこには“賑わい”が生まれ、“交流”が生まれ、  
“文化”が生まれ、それが「Story」となっていく

だからこそ 私たちは同じ名前の店舗を持たない  
同じデザインの店舗を持たない

その街だからこそ その建物だからこそ  
唯一無二の店舗を創り上げていく

不器用で非効率かもしれない  
でもそれこそが 私たちが圧倒的な店舗を創ることができる  
最大の強みなのかもしれない



国営海の中道海浜公園魅力推進協議会資料

海の中道マリーナ&テニス

# 経緯

## 【2016年】

株式会社海の中道リゾートの構成企業として、ザ・ルイガンズを運営されている株式会社Plan・Do・Seeとともに「海の中道海浜公園研修宿泊室等管理運営事業」の事業者として選定された。

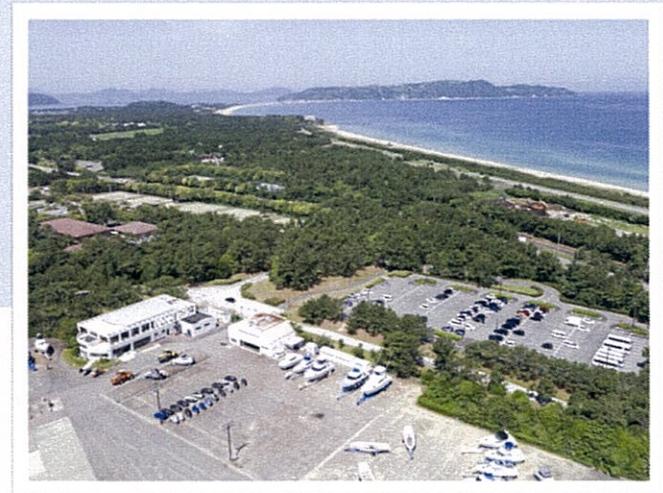
## 【2018年】

株式会社海の中道リゾートより委託を受けて、マリーナとテニスの運営を開始した。

\* テニスについては合同会社Sprout Forestに再委託を行っている。

# 施設の概要

部門	施設
マリーナ	クラブハウス（会議室・シャワー・ラウンジ） 保管ヤード 修理工場 ガソリンスタンド スロープ 栈橋（1基）
テニス	オムニコート 14面 ハードコート 4面 ログハウス



# マリーナ運営について

## 基幹的業務

免許	レンタル	販売	保管	修理
1級小型船舶免許	ヤマハ シースタイル	マリンセンター マリノアで対応	ボート 37隻	エンジン整備
2級小型船舶免許	21FTボート 2隻		カッター 4隻	船体修理
特殊船舶免許			水上オートバイ 90隻	航海機器の取付け など



# マリーナ運営について

## 発展的業務

海に興味を持ってもらうきっかけとなる事業  
公園という立地を生かした事業

チャーター

マリンスポーツ & BBQ

マリン異業種とのコラボレーション



ダイビングショップ  
SUPインストラクター  
釣具店 など



# テニス運営について

スクール	イベント	レンタル
大人クラス ジュニアクラス 一般 強化 育成  約50名の生徒数 国体出場選手も輩出	18面というコート数は県内有数  年間約100件のイベント開催  2000人規模の大会も誘致  歴史ある大会も海中で多数開催	ザ・ルイガンズとのコラボ (テニス&ランチ・宿泊&テニス)  日本代表合宿での利用 など



UMINONAKAMICHI MARINA & TENNIS

**レンタルコート  
ポイントカードが  
お得に変わりました!!**

さらに

**初回からいきなり10%OFF!**

**利用すればするほど割引率UP!!**

※ 2回目以降... 10%OFF 3回目以降... 15%OFF  
※ 最大50%OFF! とお祝い金ももらえるポイントカードです。

**スタンプ5個でコート無料!!!**

※ 1ヶ月単位でご利用いただけます。

当日から入金できますので、詳しくはフロントまでお問合せください。

※本カードは専用システムで発行いたします。この特典の適用は、本カードを有効にしてください。スタンプを有効にしてください。本カードは、1回に限りのみご利用いただけます。本カードの有効期限は、発行日より1年です。... (利用規約、お申込書をお読みください。詳しくはフロントまでお問合せください。)

# 管理運営の実施方針

【安全・安心】

【ネットワーク】

マリーナネットワーク

テニス連盟とのネットワーク

園内施設とのネットワーク



## 園内施設との連携

### 【管理センター】

親子体験カッター教室 等

### 【海の中道青少年海の家】

カッター教室／マリンスカウト

### 【ホテルルイガンズ】

テニス&ランチ／宿泊&テニス／マリンスポーツ